

熊本県院内がん登録データに係る統計

— 2018 年診断症例 —

熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会

目 次

はじめに	1
収集データについて	2
院内がん登録 標準登録様式	3
統計使用項目一覧	5
統計独自項目	6
統計独自区分一覧	6
I. 施設全体統計	
がん登録部会参加施設 - 2018 年診断症例	9
1. 平成 30 年の熊本県の状況と 2018 年診断症例の件数に関する概要	10
2. 診断年別 登録件数	12
3. 診断年別 患者住所医療圏別登録件数	12
4. 患者住所医療圏別 部位別登録件数	13
5. 診断年別 年代別登録件数	14
6. 診断年別 平均年齢	14
7. 性別年代別 主要部位別登録内訳	15
8. 主要部位別 登録件数と割合	16
9. 診断年別 主要部位別登録件数	16
10. 診断年別 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)	17
11. 主要部位別病期分類(総合 Stage)	17
12. 主要部位別治療の内訳	17
13. 5大部位(総合 Stage 別)の主な治療内訳	18
14. 施設別 主要部位別登録件数と割合	19
15. 施設別 治療(初回治療+初回治療継続)件数	20
16. 5大部位別 施設別治療の内訳	20
17. 施設別 患者住所構成割合[熊本/有明/鹿本/菊池/阿蘇/上益城 医療圏]	22
施設別 患者住所構成割合[宇城/八代/芦北/球磨/天草 医療圏]	23
18. 診断年別 部会統計参加施設による全国がん登録届出状況	24
19. 集計年別 5年生存率の推移(がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計報告書より)	25
II. 施設別統計	
国立大学法人 熊本大学医学部附属病院【現 熊本大学病院】	29
荒尾市民病院	37
独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	45
熊本市立 熊本市市民病院	53
熊本赤十字病院	61
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	69
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	77
独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター	85
一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター	93
独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院	101
独立行政法人国立病院機構 熊本再春荘病院【現 熊本再春医療センター】	109
医療法人創起会 くまもと森都総合病院	117
独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院	125
一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター	133
国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	141
独立行政法人国立病院機構 熊本南病院	149
社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター 高野病院	157
国保 水俣市立総合医療センター	165
山鹿市民医療センター	173
社会医療法人黎明会 宇城総合病院	181
球磨郡公立多良木病院	189
<各施設別に以下作成>	
表紙(概要、コメント)	
① 患者住所医療圏別登録の状況(2018 年診断症例)	⑥ 診断年別主要部位別登録件数
② 平均年齢と年次比較	⑦ 主要部位別病期分類(総合 Stage)
③ 発見経緯 5大部位の内訳	⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)
④ 性別主要部位別件数と平均年齢	⑨ 主要部位別治療の内訳
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布	⑩ 5大部位(総合 Stage 別)の主な治療

はじめに

熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会は、熊本県におけるがん対策を推進する目的で設置された「熊本県がん診療連携協議会」の一組織として、熊本県における院内がん登録の普及啓発、登録精度向上、登録データの利活用等の活動を行っています。

熊本県においては、がん診療の一層の均てん化を目的に、平成18年以降、国指定のがん診療連携拠点病院7施設と、熊本県が独自に指定している熊本県がん診療連携拠点病院11施設、その他に院内がん登録を実施している医療機関等に、本部会の活動に参画いただき、部会活動の拡充を図っているところです。

本統計資料は、部会活動の一環として平成21年度から発行しているもので、今回で12回目の発行となりました。昨年同様、部会参加22施設中、21施設の院内がん登録データ(2018年診断症例)を収集し、統計参加施設全体の集計と、施設別の集計を行いました。

熊本県全体のがん診療の状況とともに、各施設でどのようながんを対象に診療を行っているか、主としてどの地域のがん患者様を対象として診療を行っているかなどの状況を表す内容となっています。また、参加施設が自施設の集計データに関する分析を行い、その結果を掲載しています。集計データとあわせてご覧いただくことで、各施設のがん診療の特徴をより具体的に捉えていただけるものと考えています。

2018年診断症例は2017年診断症例と参加施設数は同じ21施設ですが、登録件数が若干増加しました。調査の結果、施設独自の事情(医師の増員等)によるものが大半であったことから、現時点では熊本県のがん患者が増加したと結論付けることはできず、今後の推移に注視する必要があります。

集計作業を行っている令和元年(2019年)度には、熊本県においてもがんゲノム医療が本格化し始めました。また今後のがん診断に大きく影響を及ぼす可能性のある検査技術が実用化されたニュース等もあり、これからのがん診療が大きく発展し早期発見、治療につながることを期待されています。

本統計資料が熊本県内のがん診療の状況をご理解いただくための一資料として、医療関係者をはじめ多くの方にご活用いただき、熊本県における院内がん登録推進の基盤となることを祈念しております。

令和2年3月
熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会長
熊本大学病院医療情報経営企画部長
がんセンターがん登録センター長

宇宿 功市郎

収集データについて

収集対象

2018年診断症例(2018年1月1日～12月31日)を対象とし、国(厚生労働省)指定のがん診療連携拠点病院7施設及び熊本県指定のがん診療連携拠点病院11施設、拠点病院以外のがん登録部会参加医療機関3施設、合わせて21施設から収集を行った。

登録対象は自施設における新規の診断症例または初診症例(他施設において初回治療が行われた後、自施設に初診した症例等)である。1腫瘍1登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種が生じた場合には、複数登録となる。また同一患者が同じがんで複数の部会参加医療機関を受診した場合、同じがんが重複して登録されるが、各医療機関において集計作業を行っているため重複の整理は行っていない。

また「がん登録等の推進に関する法律」の施行により2016年診断症例分から全国がん登録が開始され、従来の悪性新生物と頭蓋内良性腫瘍に加え、髄膜・脊髄・中枢神経系に発生した良性腫瘍、全ての消化管間質腫瘍(GIST)、一部の卵巣境界悪性腫瘍が登録対象となった。

集計方法

国立研究開発法人国立がん研究センター提示による「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年版」において定義された標準項目に基づいて収集されたデータに、同センターがん対策情報センターが提供する品質管理ツールによる精度チェックまたはそれと同等の品質管理を実施したものを各医療機関において精査集計した。各施設の集計結果は部会事務局でもある都道府県がん診療連携拠点病院(熊本大学病院)において集約した。

なお、収集したデータの取扱いについては、いかなる場合においても患者個人情報が判明することがないように配慮している。そのため集計値が3件以下のものは「*」または非表示とした。

統計を利用する上での留意事項

今回の登録データ収集は「入院症例・外来症例」「入院症例のみ」と各施設によって異なっているため、一概に比較することはできない。本統計は「各施設における院内がん登録データを使用し、その状況をまとめたものにすぎない。」という点に十分留意していただきたい。

また、本統計について、分析して仮説を立て検証する段階をも含む個々の活動は、「疫学研究に関する倫理指針」の適用となる場合が考えられるので、研究活動等に利用するにあたっては、熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会までお問い合わせいただきたい。

院内がん登録 標準登録様式 (項目一覧)

項目	項目名	分類方法	説明
900	病院等の名称		
100	診療録番号	施設で患者に固有にあてられている番号・記号	施設において患者を識別するための1患者1件の不変コード。
110	重複番号	1 第1がん 2 第2がん...	自施設における多重がんの有無を把握するための番号。
120	カナ氏名		
130	氏名	役場照会による予備調査のために、通称等ではなく、本名を登録	姓と名の間に、全角空白を入れるなど、分割可能な方法で登録。
140	性別	1 男 2 女	生物学的性別ではなく、患者の住民登録上の性別を登録する。
150	生年月日	YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に則って登録する	
200	診断時居住地コード	01 北海道 ~ 47 沖縄 80 その他(外国) 99 不詳	
210	診断時住所	当該腫瘍が診断された時点での住所	
220	診断時郵便番号	ハイフンなしの数字7桁(不明の場合は9999999)	
300	原発部位(局在コード)	ICD-O-3 局在コード4桁 「C169」のように、「」を含まず入力する	
309	原発部位(テキスト)	原発部位・局在コードをテキストで補足する	
310	側性	1 右側 2 左側 3 両側 7 側性なし 9 不明	
320	病理診断(形態コード)	ICD-O-3 形態(M)コード8桁 8000/39 → 800039 の形で入力	
329	病理診断(テキスト)	病理診断・形態コードをテキストで補足する	
330	診断根拠	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー(AFP、HCG、VMA、免疫グロブリンの高値) 5 臨床検査 6 臨床診断 9 不明 ※ 4にPSAは含まない、	患者の全診療経過を通じて施行された検査の中で、最も確からしい検査。初回治療後の検査も含まれる。
350	当該腫瘍初診日	YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に則って登録する。 (当該腫瘍の診療のために初めて自施設を受診した日)	当該腫瘍初診日については、[370]自施設診断日が「7777777」となる場合(術後で診断など)に、生存率計算などの起算日として用いる。
360	他施設診断日	当該腫瘍に関して治療前の診断過程で、最も確かな検査が実施された日 (他施設が主体になって、その診断過程が変換された場合)	正確な診断日が不詳の場合は、他施設での治療開始日、入院日などともとする。
370	自施設診断日	当該腫瘍に関して治療前の診断過程で、最も確かな検査が実施された日 (自施設が主体になって、その診断過程を実施した場合)	
380	診断施設	診断施設が「自施設診断日」の場合には「自施設診断日」、他施設診断日の場合は「当該腫瘍初診日」	(起算日)
400	診断施設	1 自施設診断 2 他施設診断	当該腫瘍の初回治療前の診断において、もつとも確からしい検査を施行した施設を特定するための項目。
410	治療施設	1 自施設で初回治療を開始せず 他施設で初回治療を開始 3 他施設で初回治療を開始後に、自施設を受診して初回治療を継続 4 他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診 8 その他	※ ここでの初回治療とは、(初回治療としての)経過観察を含む。
420	症例区分	10 診断のみ 20 自施設診断・自施設初回治療開始 30 他施設診断・自施設初回治療開始 40 初回治療終了後 80 その他	当該腫瘍の診断・治療のため自施設を受診した経路。がん患者がどのような経路により自施設を受診したのかを把握できる。発見経路とは異なるものであることに留意。
450	来院経路	10 自主的受診 20 他施設からの紹介(他院・老健施設・がん検診・健診ブック等) 30 自施設で他疾患経過観察中 80 その他 99 不明	当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目。自施設・他施設を問わず、当該腫瘍に関して初めて医療機関を受診した際の状況を判断する。
460	発見経路	1 がん検診・健康診断・人間ドック 3 他疾患の経過観察中の偶然発見 4 剖検発見(AI含む) 8 その他 9 不明	※ 剖検・死亡時のAutopsy Imagingなどは解剖所見により発見された場合を指す。
470	病名告知の有無	1 病名の告知あり 2 病名の告知なし 9 不明	
500	ステージ(治療前・UICC)	4000 0期 4100 Ⅰ期 4200 Ⅱ期 4300 Ⅲ期 4400 Ⅳ期 4999 不明 7777 該当せず	
510	TNM分類(UICC) cT分類	1000 T0 1010 Tis 1050 Ta 1100 T1 1200 T2 1300 T3 1400 T4 1500 TX 1999 不明 7777 該当せず	
520	TNM分類(UICC) cN分類	2000 N0 2100 N1 2200 N2 2300 N3 2400 N4 2500 NX 2999 不明 7777 該当せず	
530	TNM分類(UICC) cM分類	3000 M0 3100 M1 3500 MX 3999 不明 7777 該当せず	
540	TNM分類(UICC) cT分類	5110 G1 5120 G2 5130 G3 5140 G4 5150 GX 5160 G5 5200 S0 5210 S1 5220 S2 5230 S3 5250 SX 5300 症状なしA 5310 症状ありB 5410 移行状態5以下 5420 5超 5511 乳頭/腫瘍・15歳未満 5512 乳頭/腫瘍・15歳以上 5513 乳頭/腫瘍・55歳未満 5514 乳頭/腫瘍・55歳以上 5520 腫瘍 5530 未分化 7001 胆嚢管 7002 肝門部胆管 7003 膵管 7004 膵臓 7100 未検査または不明 7101 いずれも陰性 7102 ERV陽性 7103 HPV/p16陽性 5999 不明 7777 該当せず	
600	ステージ(術後病理学的・UICC)	4000 0期 4100 Ⅰ期 4200 Ⅱ期 4300 Ⅲ期 4400 Ⅳ期 4999 不明 7777 該当せず	術後病理学的分類は、治療前分類を補足、修正するもの。
610	pTNM分類(UICC) pT分類	6610 pT0 1010 pTis 1050 pTa 1100 pT1 1200 pT2 1300 pT3 1400 pT4 1500 pTx	領域別分類は、隣接臓器浸潤がある場合は、原発巣+浸潤部位(部分)の両方を領域別分類とする。
620	pTNM分類(UICC) pN分類	2000 pN0 2100 pN1 2200 pN2 2300 pN3 2400 pN4 2500 pNX 2999 不明 7777 該当せず	
630	pTNM分類(UICC) pM分類	3000 pM0 3100 pM1 3500 pMX 3999 不明 7777 該当せず	

項目	項目名	分類方法	説明
640	TNM分類(UICC)の付加因子	5110 G1 5120 G2 5130 G3 5140 C4 5150 GX 5160 G5 5200 S0 5210 S1 5220 S2 5230 S3 5240 SX 5300 5400 5500 5600 5700 5800 5900 6000 6100 6200 6300 6400 6500 6600 6700 6800 6900 7000 7100 7200 7300 7400 7500 7600 7700 7800 7900 8000 8100 8200 8300 8400 8500 8600 8700 8800 8900 9000 9100 9200 9300 9400 9500 9600 9700 9800 9900 5511 乳頭/腫瘍 5512 乳頭/腫瘍(自覚以上) 5513 乳頭/腫瘍(55歳未満) 5514 乳頭/腫瘍(55歳以上) 5420 5階 5520 腫瘍 5530 未分化部 7001 胆管 7002 肝内胆管 7003 遠位胆管 7100 未検査または不明 7101 いずれも陰性 7102 HIV/p16陽性 6610 手術なし 6620 術前治療後 5999 不明 7777 該当せず	原則として、骨、軟部組織、虫垂一帯、前立腺、精巣、悪性リンパ腫、GIST、甲状腺、胆道系、頭頸部、原発不明、中聴頭への適用。それ以外は「該当せず」でよい。
550	肝臓の病期(治療前、取扱い規約)	400 Ⅰ期 410 Ⅱ期 420 Ⅲ期 430 Ⅳ期 440 IVA期 450 ⅣB期 4999 不明 7777 該当せず	正常以外の場合は、「該当せず」でよい。
580	進展度(治療前)	400 上段内 410 限局 420 所属なし/転移 430 隣接臓器浸潤 440 遠隔転移 777 該当せず 499 不明	発時的な集計・変化の観察目的であり、施設間で比較に使用しない。
680	進展度(術後病理学的)	400 上段内 410 限局 420 所属なし/転移 430 隣接臓器浸潤 440 遠隔転移 660 手術なし又は術前治療後 777 該当せず 499 不明	手術摘出検体をもとに行われた病理組織学的診断により、判断される。
700	外科的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
701	外科的治療の有無(自施設) 《自施設初回治療開始前》	(腫瘍に対しての最初の)外科的治療が自施設で施行された日	
705	外科的治療(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
706	外科的治療(他施設) 《自施設初回治療開始後》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
710	鏡視下治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
711	鏡視下治療の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)鏡視下治療が自施設で施行された日	
715	鏡視下治療(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
716	鏡視下治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
720	内視鏡的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
721	内視鏡的治療の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)内視鏡的治療が自施設で施行された日	
725	内視鏡的治療(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
726	内視鏡的治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
730	外科的・腫瘍下・内視鏡的治療の範囲	1 原発巣切除(腫瘍切除なし) 4 姑息的な観血的治療(腫瘍切除あり) 6 観血的治療なし 9 不明 ※ 原発巣切除を伴わない転移巣切除の場合は、4姑息的治療に含める	当該腫瘍に対する外科的・腫瘍下・内視鏡的治療の根治度をコードする。 初回治療として施行した観血的治療の総合的な結果を記載する。
740	放射線療法の有無(自施設)	1 自施設で施行 9 施行の有無不明	
741	放射線療法の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)放射線療法が自施設で施行された日	
745	放射線療法(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
746	放射線療法(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
750	化学療法の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
751	化学療法の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)化学療法が自施設で施行された日	
755	化学療法(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
756	化学療法(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
760	内分泌療法の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
761	内分泌療法の施行日(自施設)	(腫瘍に対しての最初の)内分泌療法が自施設で施行された日	
765	内分泌療法(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
766	内分泌療法(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
770	その他の治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
775	その他の治療(他施設)	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
776	その他の治療(他施設) 《自施設初回治療開始前》	1 施行あり 2 施行なし 9 施行の有無不明	
780	経過観察の有無(自施設)	1 自施設で経過観察開始 2 自施設で経過観察を開始せず 9 経過観察の有無不明	自施設 初回治療開始、であれば、初回治療情報の項目が「あり/なし」であり、または「経過観察を開始して」 [410]治療施設が「2:自施設初回治療開始」及び「3:自施設で初回治療継続」以外の場合は、「2:自施設で施行なし」。
790	症状緩和的治療の有無(自施設)	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明	
800	生存状況確認日	生存状況確認調査を行った、最終来院日などにより生存が確認された日 (YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に附して登録する)	既定値は「77777777」
810	死亡日	YYYYMMDD(西暦年月日)の形式に附して登録する	既定値は「1:生存」
820	生存状況	1 生存 2 死亡	既定値は「10:来院情報」
830	生存確認調査方法	10 来院情報 20 死亡退院情報 30 全国がん登録情報 40 役場情報 50 他施設照会 60 本人・家族照会 80 その他 99 不明	

院内がん登録の登録対象及び登録内容等について

- > 登録対象疾患: 上皮内がんを含む全悪性新生物(頭蓋内・髄膜・脊髄・中枢神経系に発生した良性腫瘍、全ての消化管間質腫瘍(GIST)、一部の卵巣境界悪性腫瘍も含む)。
- > 登録対象内容: 入院及び外来両部門または入院症例のみ。
- > 多重がん: 同一患者に複数の独立した腫瘍(多重がん)が診断された場合は、それぞれの腫瘍について登録した(SEERのルール)。
- > 部位、組織診断名コーディング: 「国際疾病分類-腫瘍学第3版 ICD-O-3」。
- > 病期分類: 「UICC TNM 第8版」。

統計使用項目一覧

	ページタイトル	使用項目
施設全体統計	がん登録部会参加施設 - 2018年診断症例	症例区分
	1. 平成30年の熊本県の状況と2018年診断症例の件数に関する概要	患者住所区分、性別、年齢区分
	2. 診断年別 登録件数	施設名
	3. 診断年別 患者住所医療圏別 登録件数	患者住所区分
	4. 患者住所医療圏別 部位別 登録件数	患者住所区分、部位区分
	5. 診断年別 年代別 登録件数	性別、年齢区分
	6. 診断年別 平均年齢	(各施設の)平均年齢、登録件数
	7. 性別年代別 登録件数と割合	性別、年齢区分、部位区分
	8. 主要部位別 登録件数と割合	部位区分
	9. 診断年別 主要部位別 登録件数	治療施設
	10. 診断年別 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)	部位区分、総合Stage区分
	11. 主要部位別病期分類(総合Stage)	治療施設、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	12. 主要部位別治療の内訳	治療施設、部位区分、総合Stage区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	13. 5大部位(総合Stage別)の主な治療内訳	内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	14. 施設別 主要部位別登録件数と割合	施設名、部位区分
	15. 施設別 治療(初回治療+初回治療継続)件数	治療施設、施設名、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	16. 5大部位別 施設別治療の内訳	治療施設、施設名、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無
	17. 施設別 患者住所構成割合(熊本/有明/鹿本/菊池/阿蘇/上森城 医療圏) 施設別 患者住所構成割合[宇城/八代/芦北/東郷/天草 医療圏]	患者住所区分、施設名
	18. 診断年別 部会統計参加施設による全国がん登録届出状況	患者住所区分、施設名
19. 集計年別 5年生存率の推移(がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計 報告書より) 表紙(概要、コメント)		
施設別統計	① 患者住所医療圏別登録の状況(2018年診断症例)	性別
	② 平均年齢と年次比較	患者住所区分、部位区分 診断時年齢
	③ 発見経緯 5大部位の内訳	発見経緯、部位区分
	④ 性別主要部位別件数と平均年齢	性別、診断時年齢、部位区分
	⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布	性別、年齢区分、部位区分
	⑥ 診断年別主要部位別登録件数	診断日(年)、部位区分
	⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)	部位区分、総合Stage区分
	⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)	治療施設
	⑨ 主要部位別治療の内訳	治療施設、部位区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無、治療の範囲
	⑩ 5大部位(総合Stage別)の主な治療	治療施設、部位区分、総合Stage区分、外科的、鏡視下、内視鏡的、放射線、化学療法、内分泌療法、その他の治療、経過観察有無

I 施設全体統計

がん登録部会参加施設 - 2018年診断症例

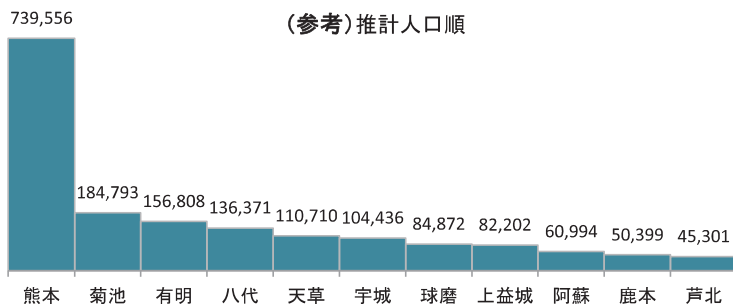
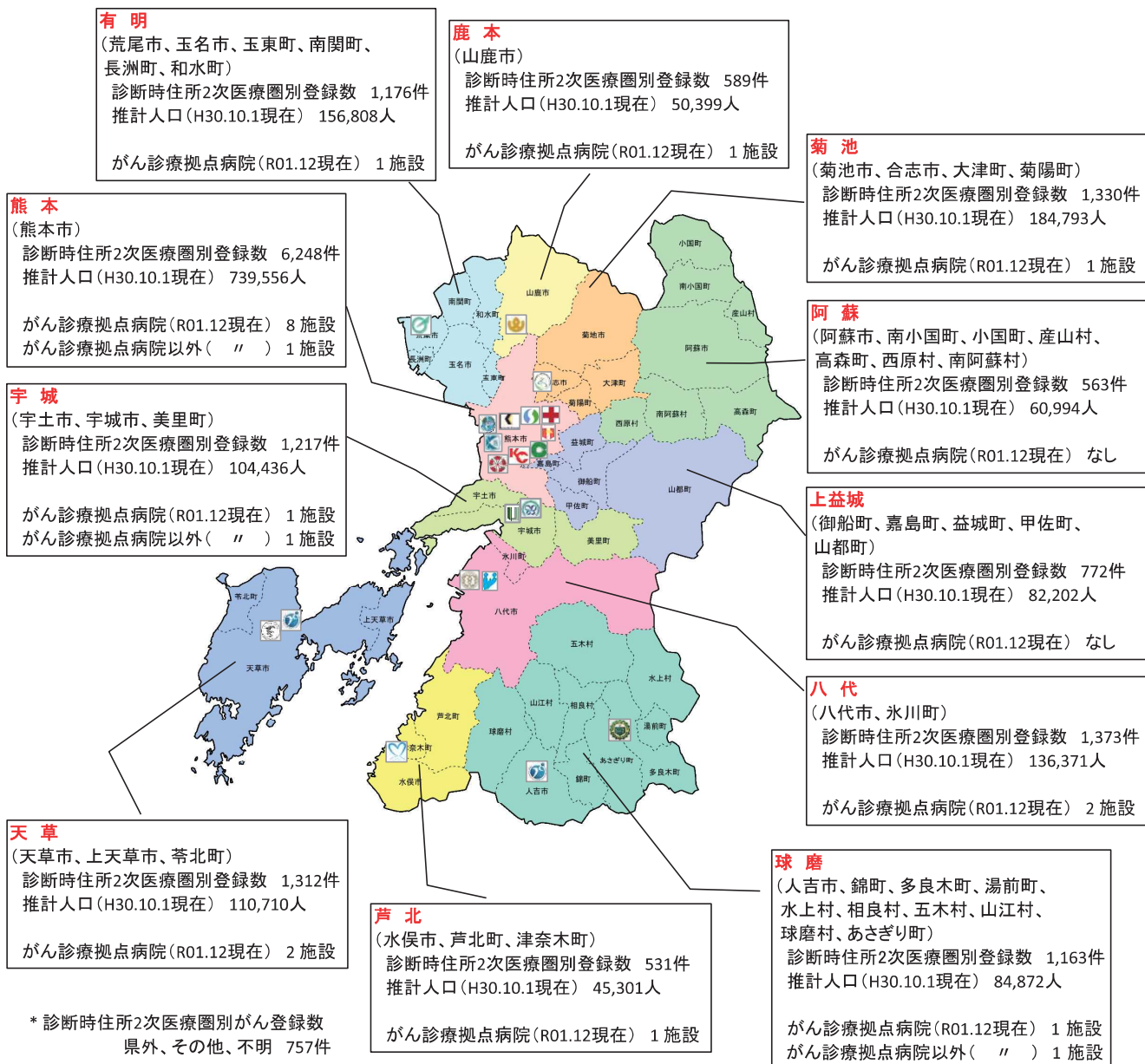
医療機関名(略称)	担当医療圏 指定日(赤:国指定 青:県指定)	登録件数	症例区分80 の件数	初回治療の割合 (症例区分20~31)	収集対象	国立がん研究センター 2018年全国集計
 国立大学法人 熊本大学医学部附属病院 (熊本)【現 熊本大学病院】	全 圏 2006.08.24	3,418	42	85.3%	入院・外来症例	参加
 荒尾市民病院 (荒尾)	有 明 2008.02.08	524	13	84.9%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター (熊医療)	熊本・鹿本 2008.02.08	1,873	44	82.2%	入院・外来症例	参加
 熊本市立 熊本市市民病院 (熊市民)	熊本・上益城	116	1	44.0%	入院・外来症例	参加
 熊本赤十字病院 (日赤)	熊本・菊池・阿蘇 2008.02.08	1,981	94	80.1%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 (労災)	八 代 2007.01.31	759	7	82.3%	入院・外来症例	参加
 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 (済生会)	熊本・宇城 2008.02.08	1,788	42	78.3%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター (人吉)	球 磨 2007.01.31	756	21	77.0%	入院・外来症例	参加
 一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター (天地域)	天 草 2010.08.17	423	3	79.2%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院 (天中央)	天 草 2010.08.17	297	2	68.0%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人国立病院機構 熊本再春荘病院 (再春荘)【現 熊本再春医療センター】	菊 池 2010.08.17	312	11	84.6%	入院・外来症例	参加
 医療法人創起会 くまもと森都総合病院 (森都)	熊 本 2011.11.07	913	4	79.4%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院 (熊総合)	八 代 2010.08.17	658	6	79.0%	入院・外来症例	参加
 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター (熊地域)	熊 本 2011.11.07	480	1	79.8%	入院・外来症例	参加
 国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 (熊中央)	熊 本 2010.08.17	1,123	1	86.6%	入院・外来症例	参加
 独立行政法人国立病院機構 熊本南病院 (熊本南)	宇 城 2014.02.28	296	6	29.4%	入院・外来症例	参加
 社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院 (高野)	熊 本 2011.11.07	377	7	66.6%	入院・外来症例	参加
 国保 水俣市立総合医療センター (水俣)	芦 北 2010.08.17	344	0	83.7%	入院症例のみ (一部外来症例)	参加
 山鹿市民医療センター (山鹿)	鹿 本 2012.11.16	312	1	62.8%	入院・外来症例	参加
 社会医療法人黎明会 宇城総合病院 (宇城)	宇 城	69	5	20.3%	入院・外来症例	不参加
 球磨郡公立多良木病院 (多良木)	球 磨	212	1	45.8%	入院・外来症例	不参加
 地方独立行政法人くまもと県北病院機構 公立玉名中央病院 (玉名)	有 明	—				

※医療機関名は2018.12.31現在の名称です。

- ◇ 注意
- > この統計資料は、がん登録部会参加施設22施設のうち21施設、計17,031件の2018年診断/初診症例データをもとに作成しております。取扱い等におきましては十分にご注意いただきますよう、お願いいたします。
 - > 表中の略称は本統計全般で使用します。
 - > 個人が特定できる可能性がある数値(3件以下)は「*」または非表示で掲載しています。
 - > 特に注意書きがない頁は、収集した全症例(症例区分10、40、80なども含む)で集計しています。

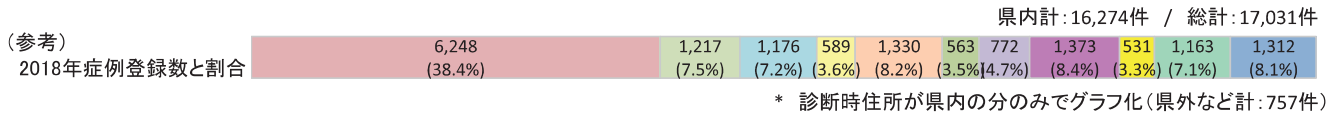
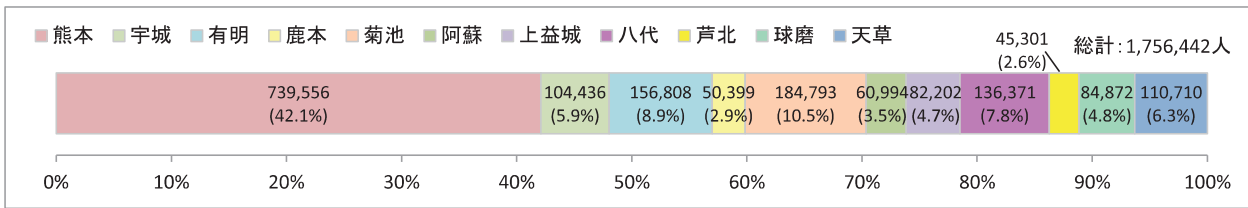
I 施設全体統計

1. 平成30年の熊本県の状況と2018年診断症例の件数に関する概要



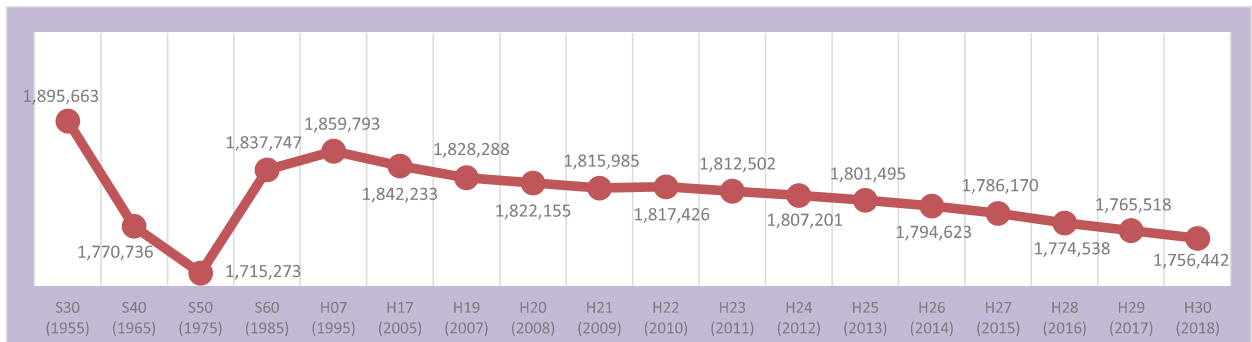
※ がん診療拠点病院はR01.12月(統計作成時)現在、18施設(国指定:7、県指定:11)である。
本年度の冊子には全拠点病院18施設と他のがん登録部会統計参加3施設を合わせた21施設が参加している。

(参考) 熊本県の推計人口と割合(H30.10.1現在)



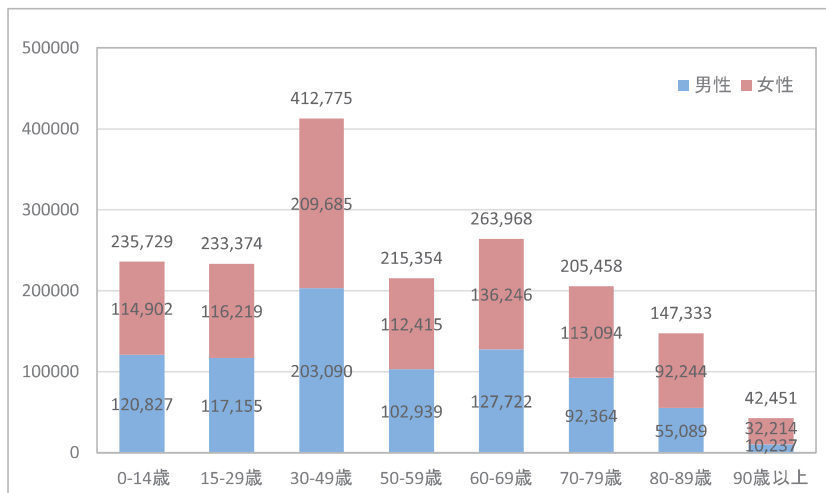
※ 推計人口は熊本県HP「平成30年熊本県の人口と世帯数(年報)第1表」より引用した。
 ※ 2018年症例登録数は件数≠人数である。(多重がん登録、患者重複あり)

(参考) 熊本県の人口推移



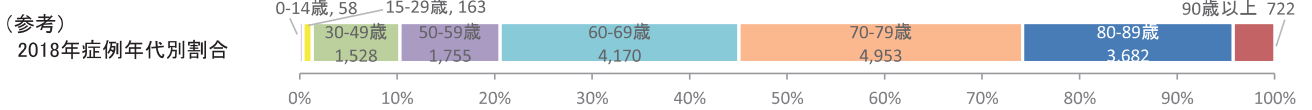
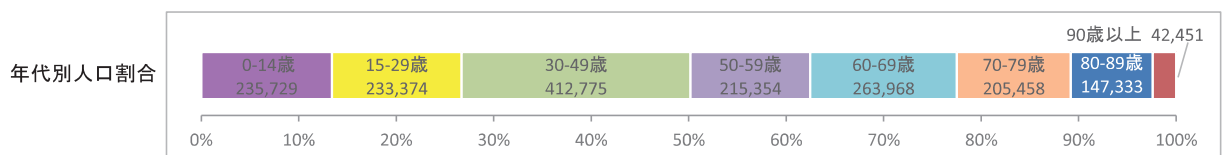
※ 平成17年までは「国勢調査」、平成19年以降は熊本県HP「熊本県の人口と世帯数(年報)」より引用した。

(参考) 熊本県の年代別人口と割合(H30.10.1現在)



	男性	女性	計
0-14歳(小児がん)	120,827	114,902	235,729
15-29歳(AYA世代)	117,155	116,219	233,374
30-49歳	203,090	209,685	412,775
50-59歳	102,939	112,415	215,354
60-69歳	127,722	136,246	263,968
70-79歳	92,364	113,094	205,458
80-89歳	55,089	92,244	147,333
90歳以上	10,237	32,214	42,451
不詳			
計	829,423	927,019	1,756,442

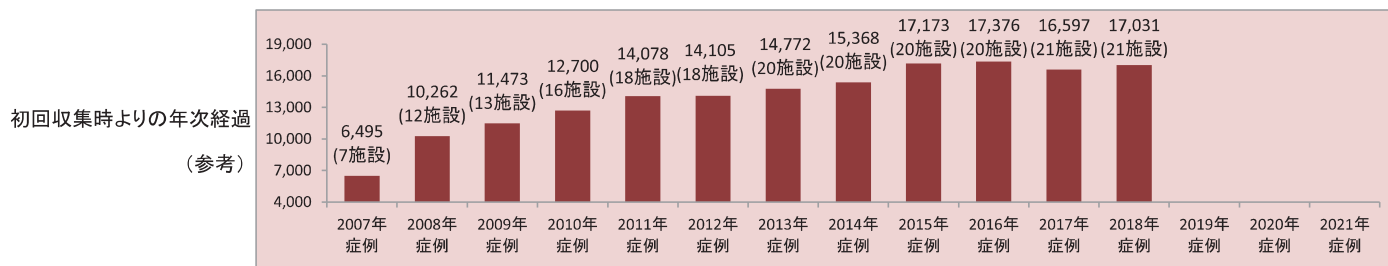
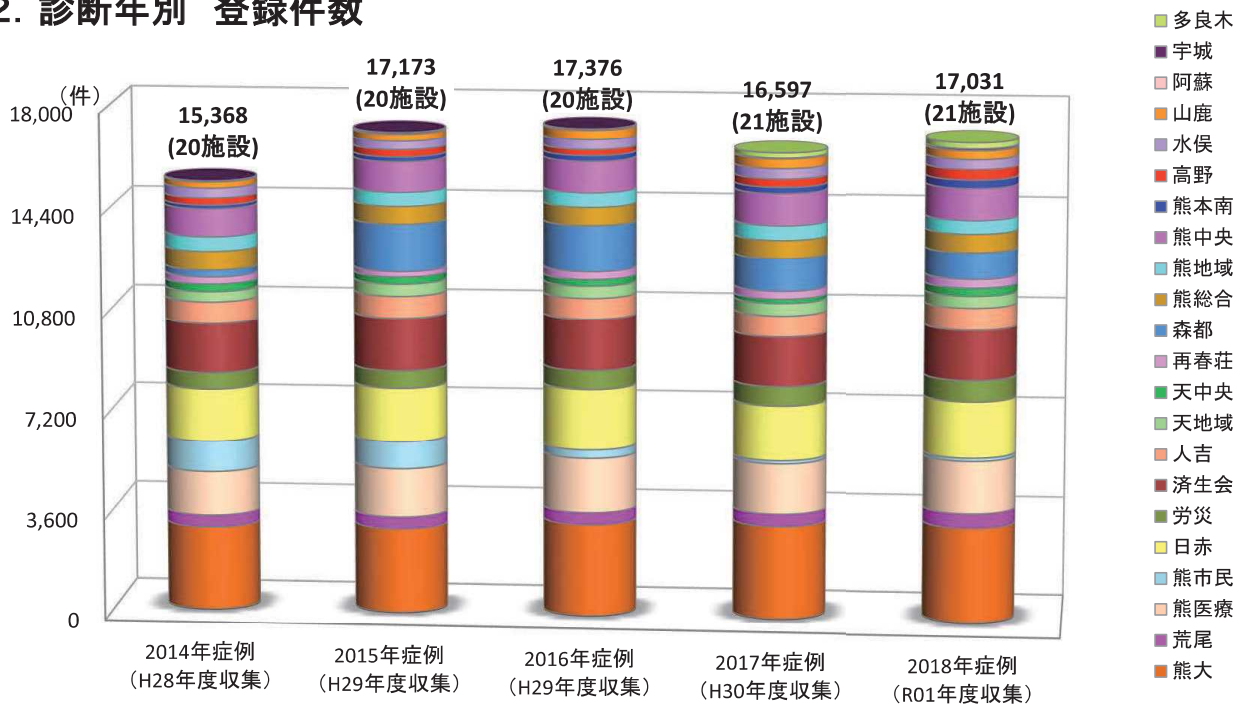
※ 推計人口は熊本県HP「平成30年熊本県の人口と世帯数(年報)第4表」より引用した。
 ※ 年齢は、本統計冊子で定めた区切り方による。(6頁 統計独自区分一覧<年齢区分>参照)



*県外、その他、不明も含む(2018年症例の約4.4%: 757件)ため厳密には比較しないこと。

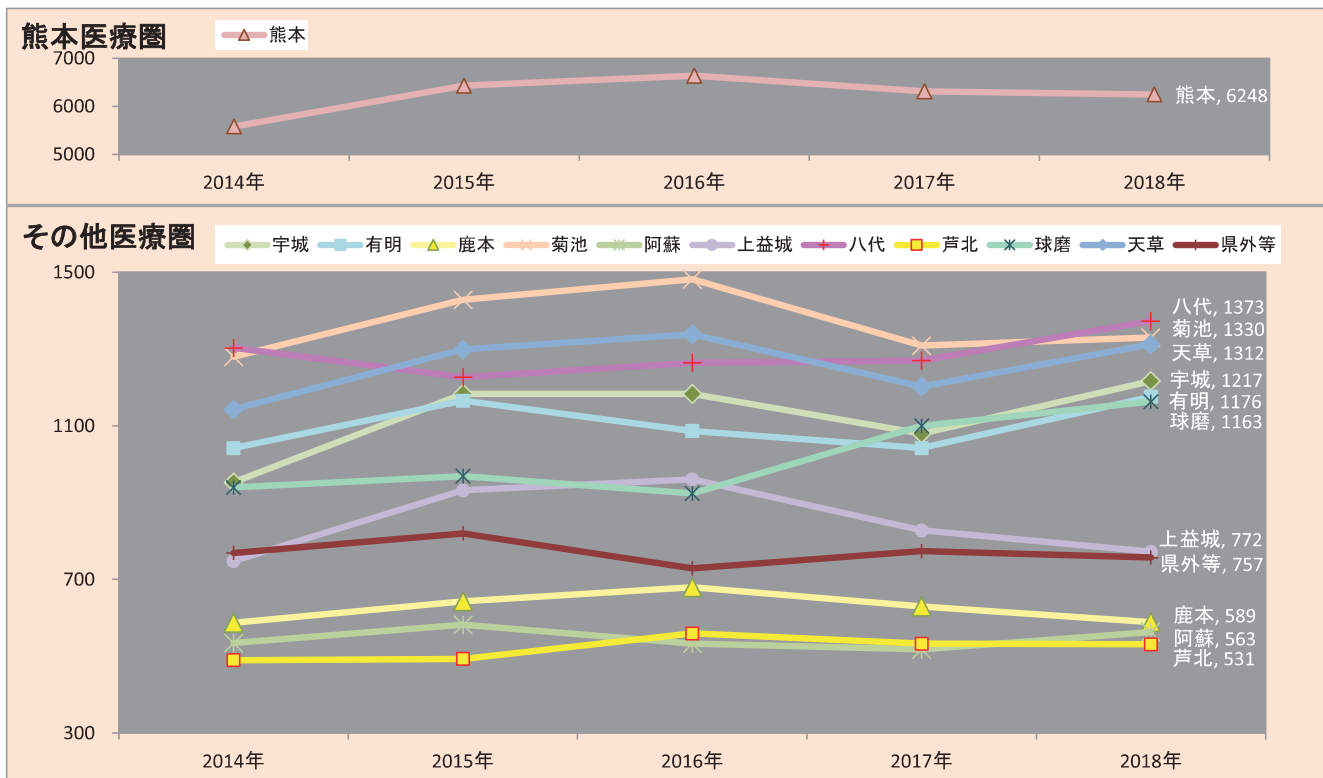
I 施設全体統計

2. 診断年別 登録件数



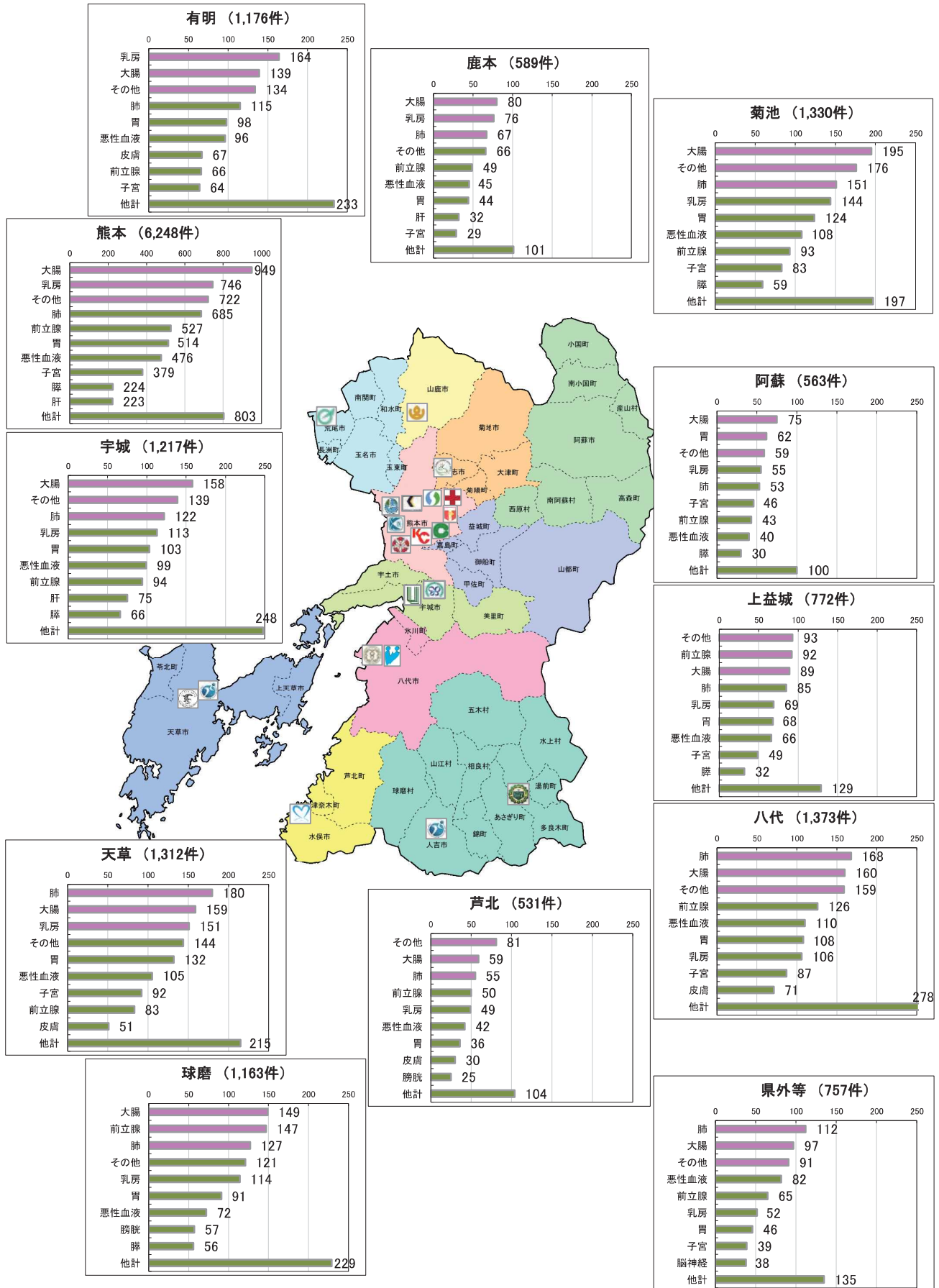
※ 上記件数=患者数ではない。重複あり、多重がんありの総件数。

3. 診断年別 患者住所医療圏別登録件数



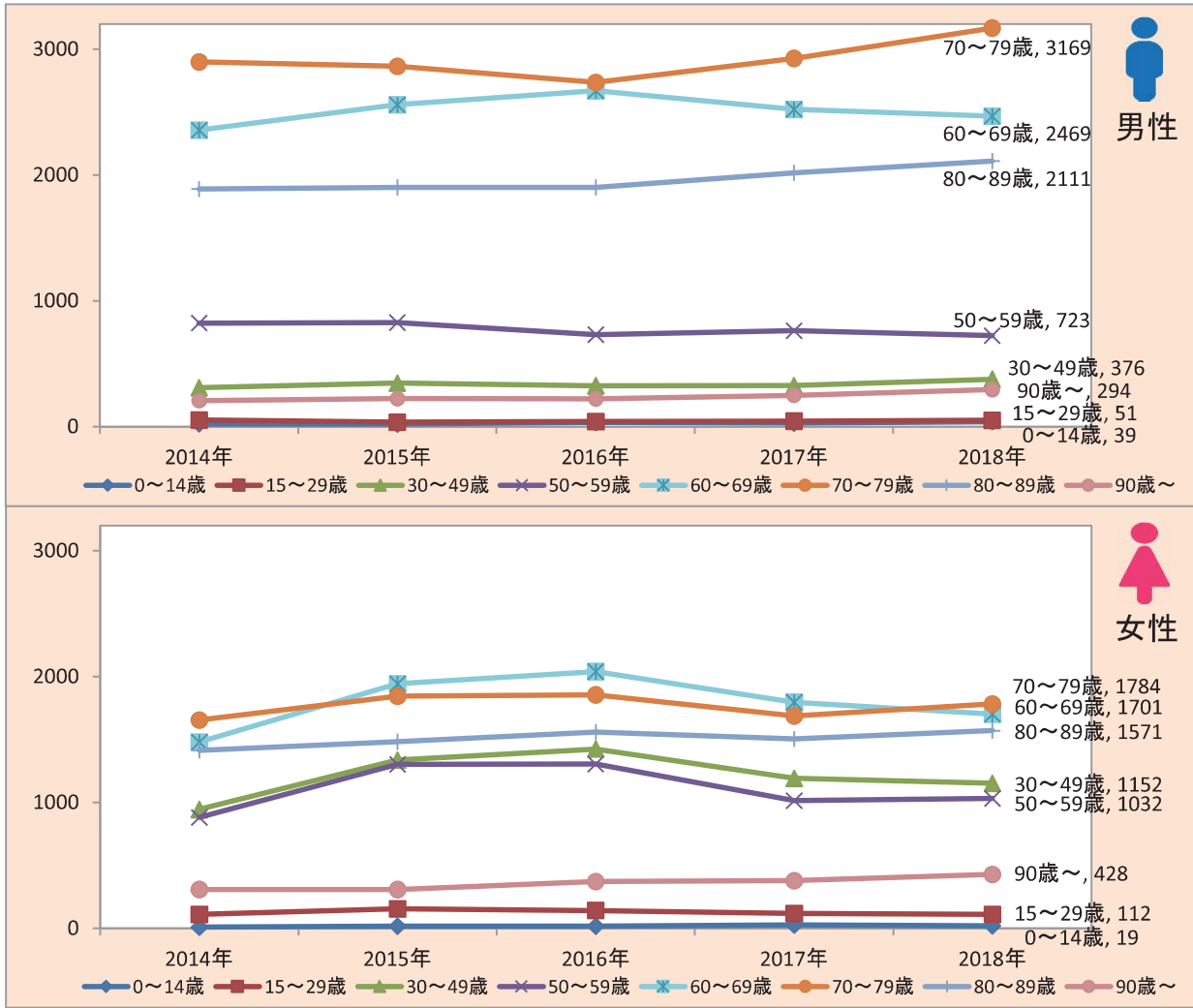
※ 収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。

4. 患者住所医療圏別 部位別登録件数

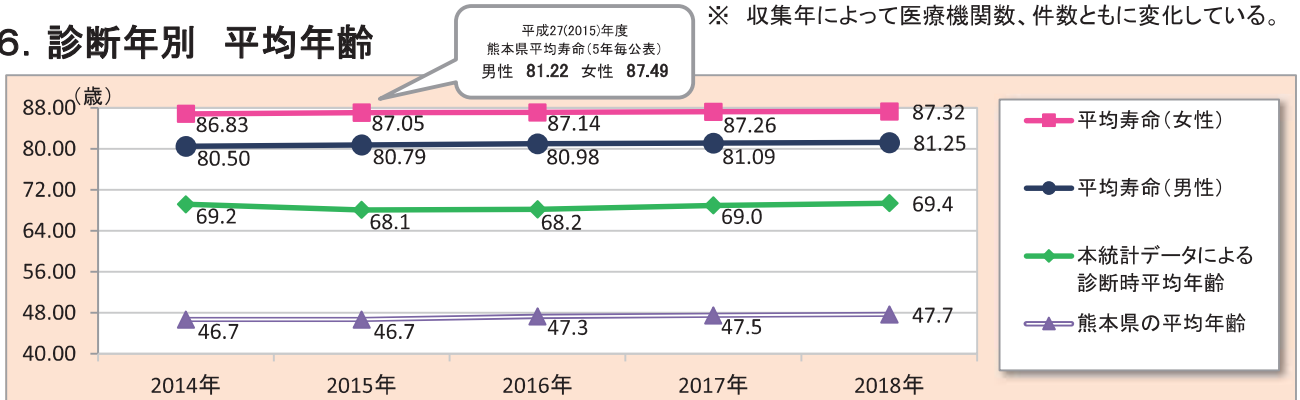


I 施設全体統計

5. 診断年別 年代別登録件数

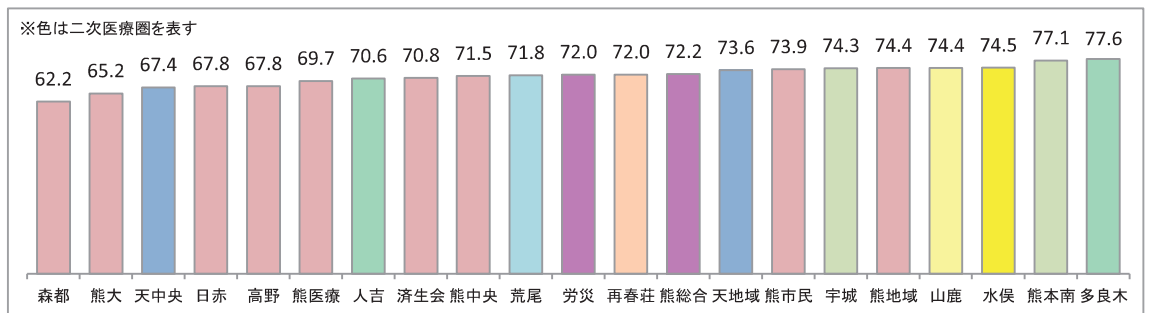


6. 診断年別 平均年齢



※ 平均寿命は、厚生労働省HP平成30年簡易生命表・都道府県別生命表より引用した。
 ※ 熊本県の平均年齢は、国立社会保障・人口問題研究所HP 人口統計資料集 都道府県別人口の平均年齢2018年版(熊本県の部分)より引用した。尚、数値は2016年の平均年齢なので注意すること。

(参考)
施設別
平均年齢



7. 性別年代別 主要部位別登録内訳



男性全体		0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
前立腺	1,435	悪性血液	28	悪性血液	18	大腸	80	大腸	146	前立腺	429	前立腺	625	肺	327	その他	41
大腸	1,345	肝	4	その他	16	その他	73	肺	83	大腸	386	肺	489	前立腺	286	大腸	36
肺	1,302	その他	4	脳神経	8	悪性血液	60	その他	80	肺	346	大腸	431	大腸	265	悪性血液	35
その他	991	脳神経	*	口腔咽頭	*	脳神経	33	悪性血液	73	その他	265	胃	360	胃	251	肺	31
胃	979	口腔咽頭		胃	*	胃	29	胃	63	胃	245	その他	284	その他	228	前立腺	31
悪性血液	761	食道		皮膚	*	肺	26	前立腺	60	悪性血液	147	悪性血液	216	悪性血液	184	胃	29
肝	440	胃		大腸	*	脾	19	肝	51	脾	121	肝	147	肝	125	皮膚	25
膀胱	410	大腸		肝	*	口腔咽頭	18	口腔咽頭	43	食道	117	膀胱	135	膀胱	116	膀胱	24
脾	375	脾		脾	*	食道	9	食道	43	口腔咽頭	110	食道	133	皮膚	111	肝	14
食道	366	肺		食道		皮膚	9	脾	29	膀胱	104	脾	119	脾	80	口腔咽頭	12
口腔咽頭	355	皮膚		食道		食道	8	膀胱	23	肝	89	口腔咽頭	113	食道	58	食道	7
皮膚	284	乳房		乳房		膀胱	8	脳神経	16	脳神経	58	皮膚	75	口腔咽頭	57	脾	6
脳神経	180	子宮		子宮		前立腺	4	皮膚	13	皮膚	49	脳神経	38	脳神経	21	脳神経	*
乳房	9	前立腺		乳房		乳房		乳房		乳房	*	乳房	4	乳房	*	乳房	
子宮		膀胱		膀胱		子宮		子宮		子宮		子宮		子宮		子宮	
計	9,232	計	39	計	51	計	376	計	723	計	2,469	計	3,169	計	2,111	計	294

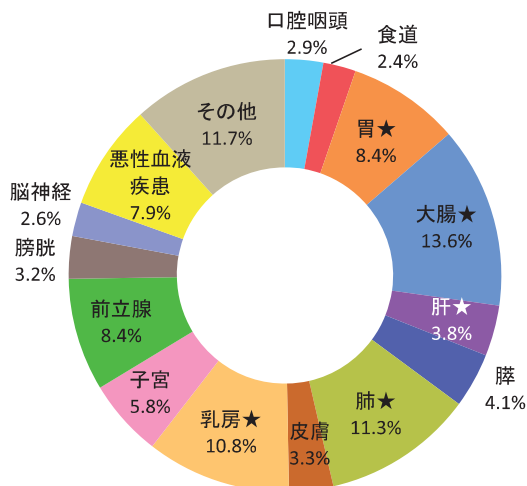


女性全体		0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	1,830	悪性血液	12	子宮	56	子宮	467	乳房	373	乳房	510	乳房	357	大腸	253	大腸	88
その他	994	その他	5	その他	22	乳房	383	子宮	181	大腸	216	大腸	279	その他	207	その他	56
子宮	990	肝	*	脳神経	13	その他	104	その他	137	その他	207	その他	256	肺	175	皮膚	50
大腸	964	脳神経	*	悪性血液	13	悪性血液	39	大腸	93	肺	168	肺	179	乳房	163	胃	41
肺	618	口腔咽頭		乳房	5	脳神経	38	肺	56	子宮	143	悪性血液	155	悪性血液	161	乳房	39
悪性血液	580	食道		胃	*	大腸	34	悪性血液	50	悪性血液	115	胃	125	胃	125	悪性血液	35
胃	447	胃		大腸	*	胃	31	脳神経	47	胃	90	脾	91	皮膚	117	脾	34
脾	325	大腸		皮膚	*	肺	16	胃	34	脾	69	子宮	84	脾	106	肺	24
皮膚	279	脾		口腔咽頭		口腔咽頭	13	脾	19	脳神経	64	肝	73	肝	70	肝	19
脳神経	255	肺		食道		皮膚	13	皮膚	12	肝	32	皮膚	57	子宮	48	膀胱	16
肝	206	皮膚		食道		脾	6	食道	10	皮膚	29	脳神経	46	膀胱	46	子宮	11
口腔咽頭	131	乳房		肝	5	肝	5	膀胱	8	口腔咽頭	26	膀胱	36	口腔咽頭	45	口腔咽頭	8
膀胱	130	子宮		膀胱	*	膀胱	*	口腔咽頭	6	膀胱	22	口腔咽頭	33	脳神経	43	食道	4
食道	50	前立腺		前立腺	*	食道	*	肝	6	食道	10	食道	13	食道	12	脳神経	*
前立腺		膀胱		膀胱		前立腺		前立腺		前立腺		前立腺		前立腺		前立腺	
計	7,799	計	19	計	112	計	1,152	計	1,032	計	1,701	計	1,784	計	1,571	計	428

総数	
大腸★	2,309
その他	1,985
肺★	1,920
乳房★	1,839
前立腺	1,435
胃★	1,426
悪性血液	1,341
子宮	990
脾	700
肝★	646
皮膚	563
膀胱	540
口腔咽頭	486
脳神経	435
食道	416
計	17,031

I 施設全体統計

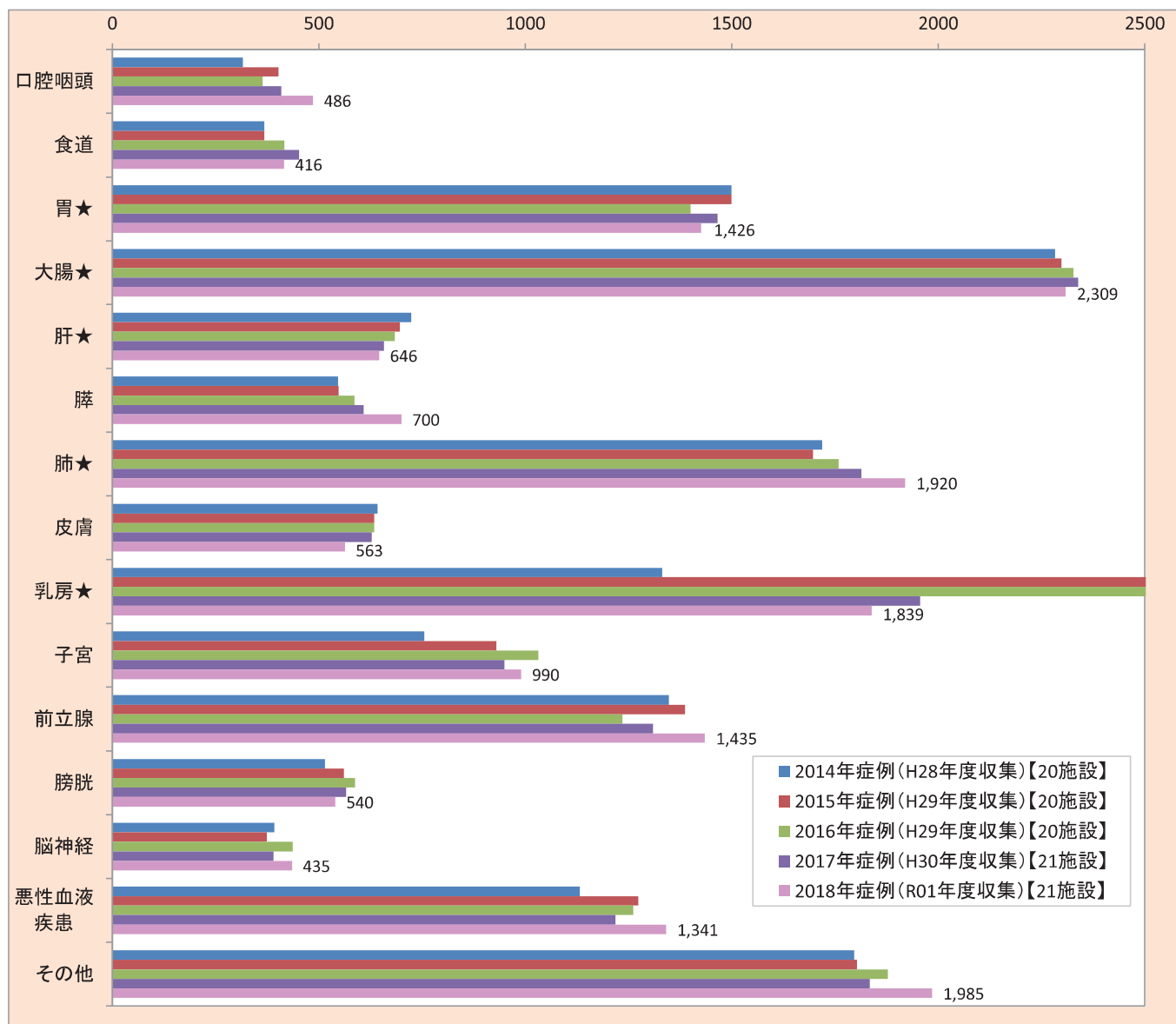
8. 主要部位別 登録件数と割合



部位	ICD-O-3コード	2018年 症例
口腔咽頭	C00-C14	486
食道	C15	416
胃★	C16	1,426
大腸★	C18-C20 (結腸、直腸)	2,309
肝★	C22	646
膵	C25	700
肺★	C33-C34	1,920
皮膚	C44	563
乳房★	C50	1,839
子宮	C53-C55 (子宮頸部、体部)	990
前立腺	C61	1,435
膀胱	C67	540
脳神経	C700,C71,C722-729,C751-753	435
悪性血液疾患	形態コード959-998,C421 (白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍)	1,341
その他	上記以外	1,985
計		17,031

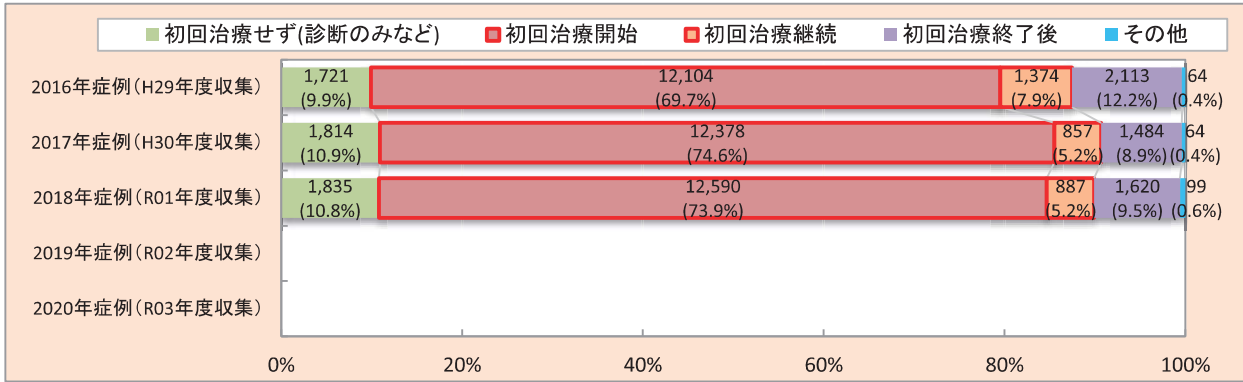
※ 先に形態コード(959-998)で集計後、局在コード(C**)で集計する。
 ※ ★は5大部位。

9. 診断年別 主要部位別登録件数



※ 収集年によって医療機関数、件数ともに変化している。
 ※ 患者重複、多重がん等含めた件数である。

10. 診断年別 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

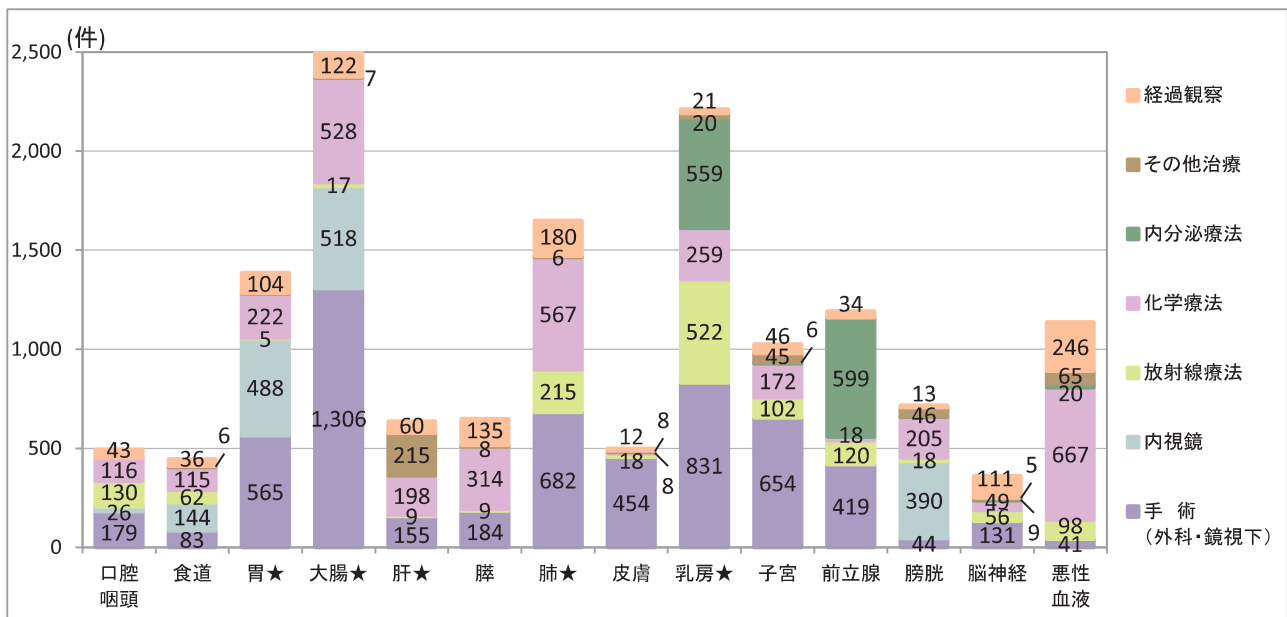


11. 主要部位別病期分類(総合Stage)

部位	全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	486	19	105	82	38	185	57	
食道	416	52	168	32	51	70	43	
胃★	1,426		895	98	110	228	95	
大腸★	2,309	402	428	494	389	404	192	
肝★	646		230	141	77	79	119	
膵	700	14	106	105	105	312	58	
肺★	1,920	41	658	138	271	644	168	
皮膚	563	104	309	58	29	12	51	
乳房★	1,839	210	700	441	134	96	258	
子宮	990	492	252	48	87	61	50	
前立腺	1,435		393	467	206	248	121	
膀胱	540	192	94	57	38	25	134	
脳神経	435						435	
悪性血液疾患	1,341		120	81	96	175	869	

- ※ 総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

12. 主要部位別治療の内訳

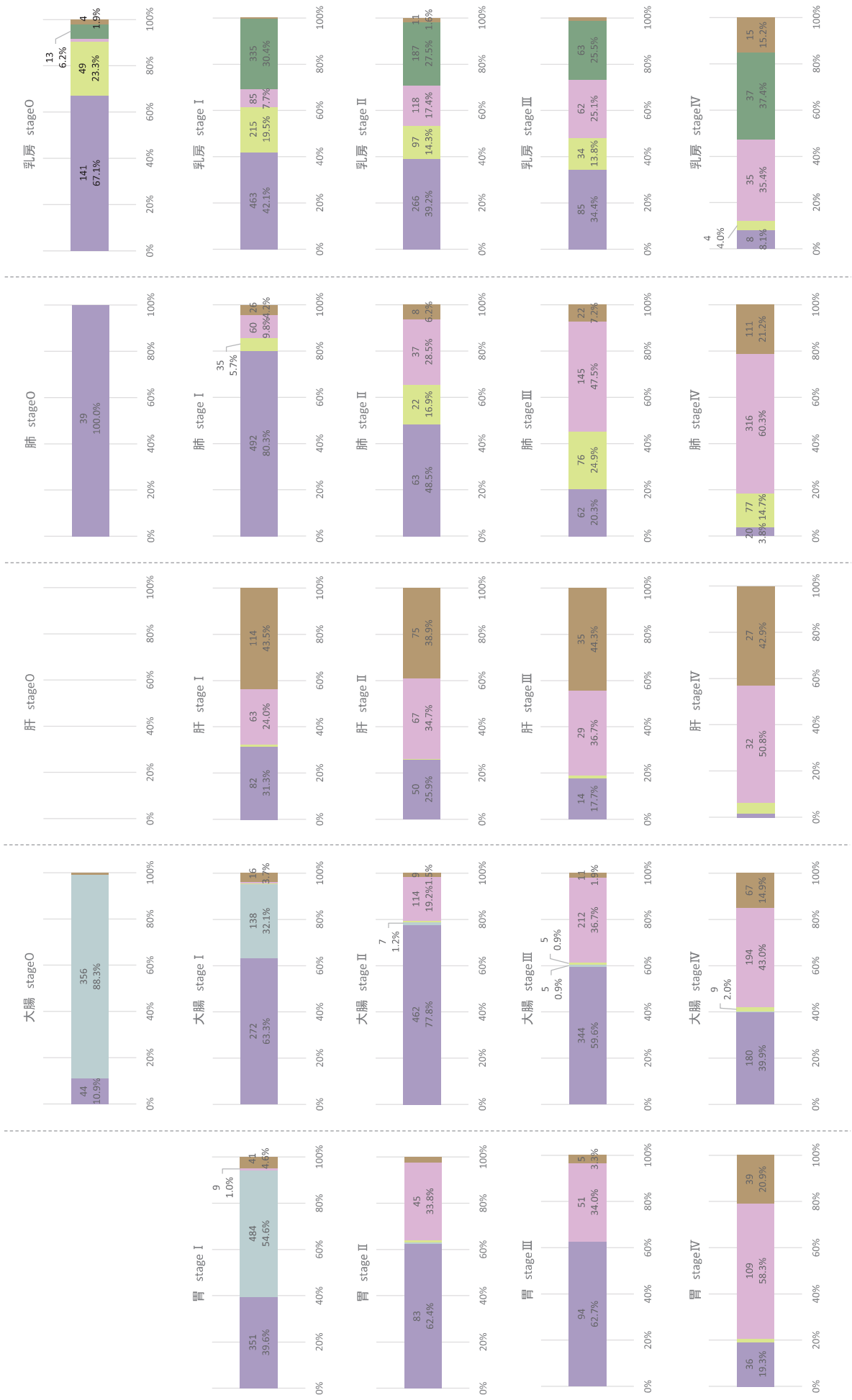


- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で治療されたものを集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

13. 5大部位(総合Stage別)の主な治療内訳

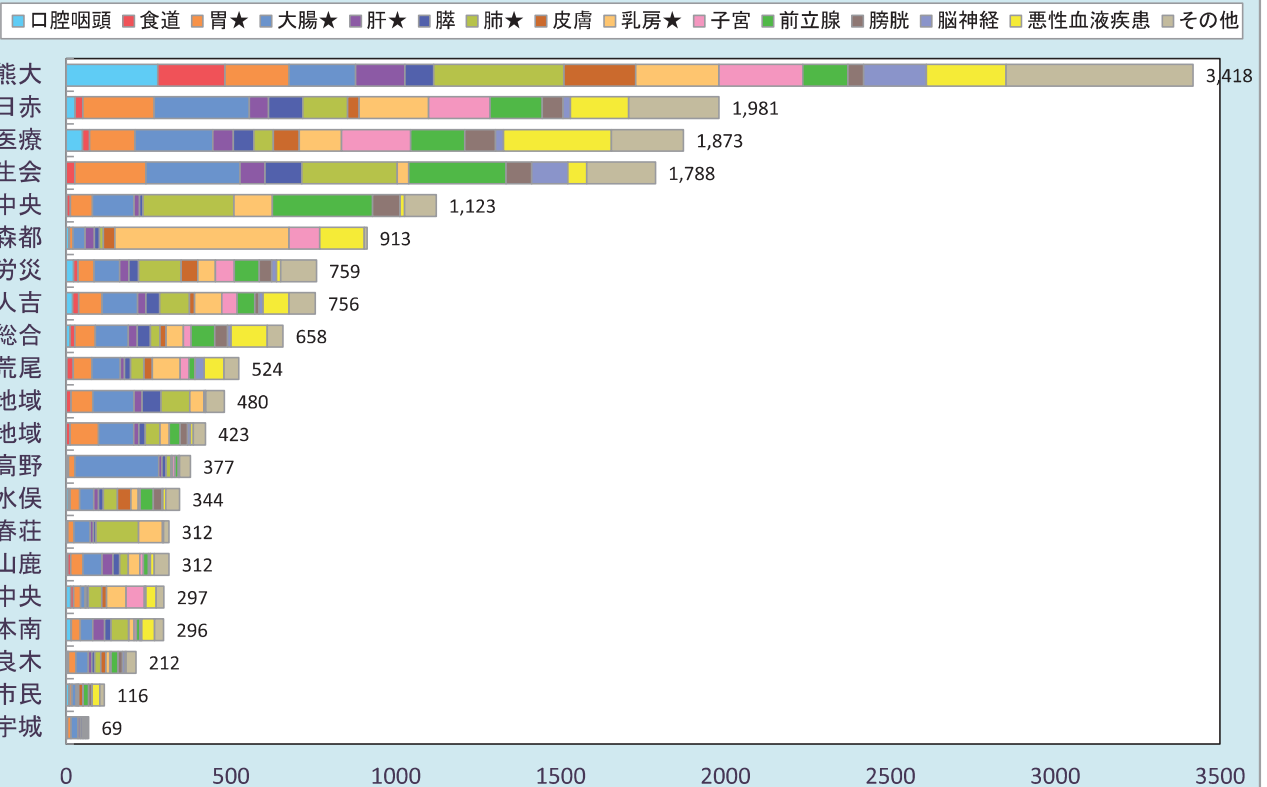
- ※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
- ※ 治療は単独、複数に問わず各々積算
- ※ 分類はUICC8版に基づく
- ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む

I 施設全体統計

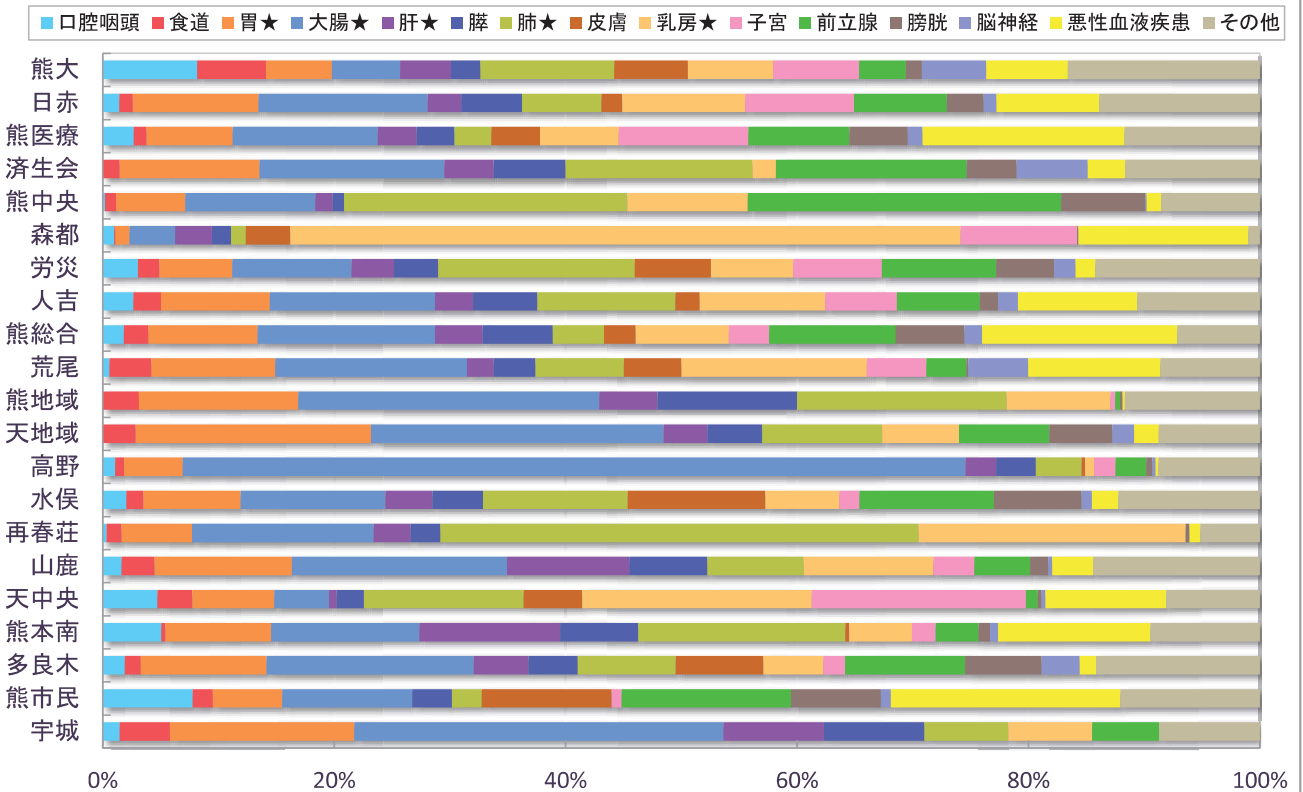


14. 施設別 主要部位別登録件数と割合

【登録件数】

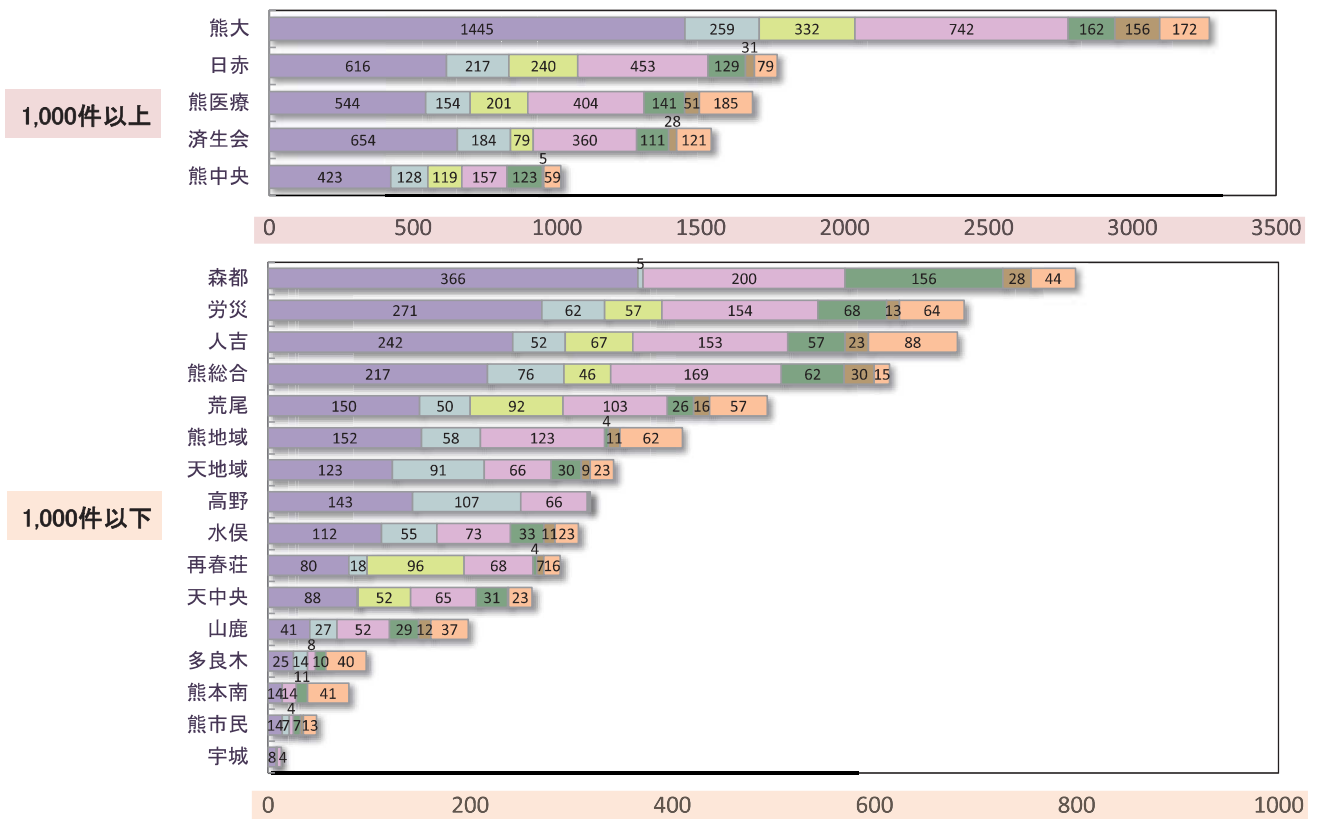


【登録割合】

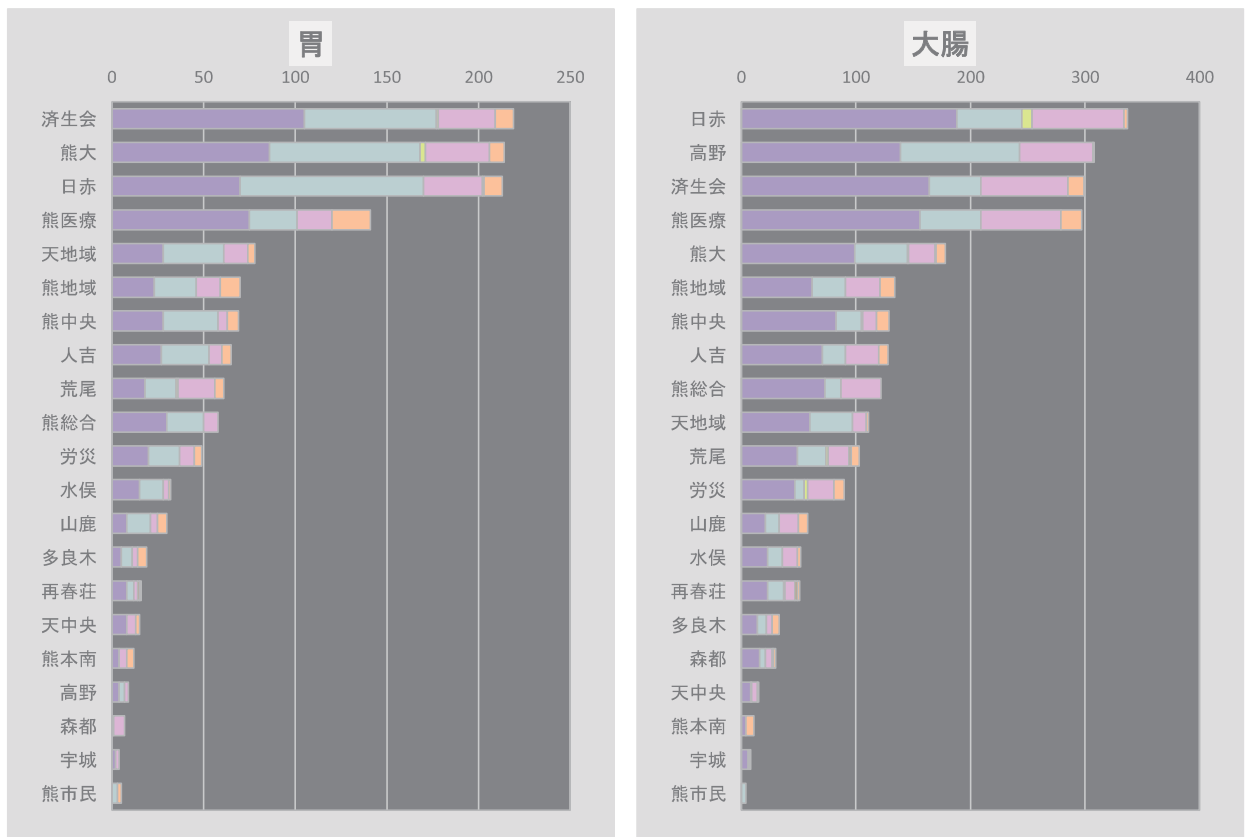


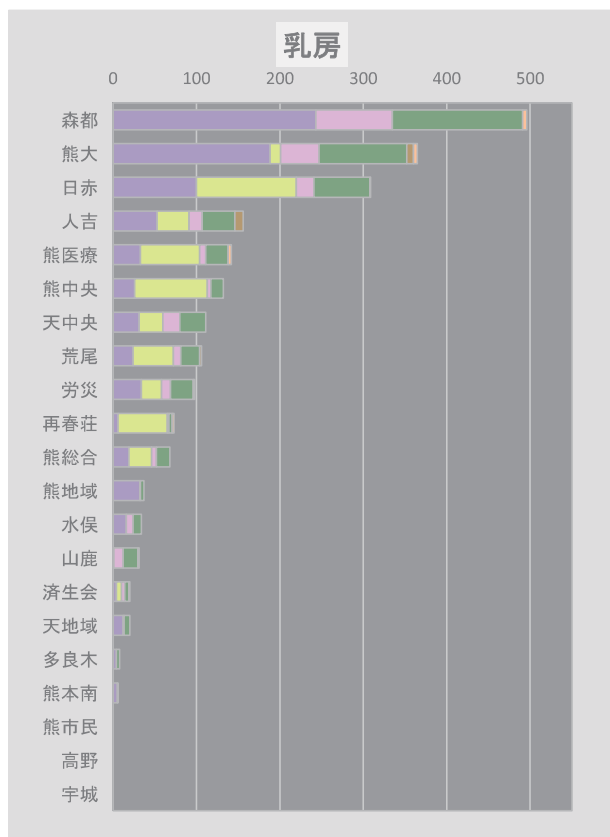
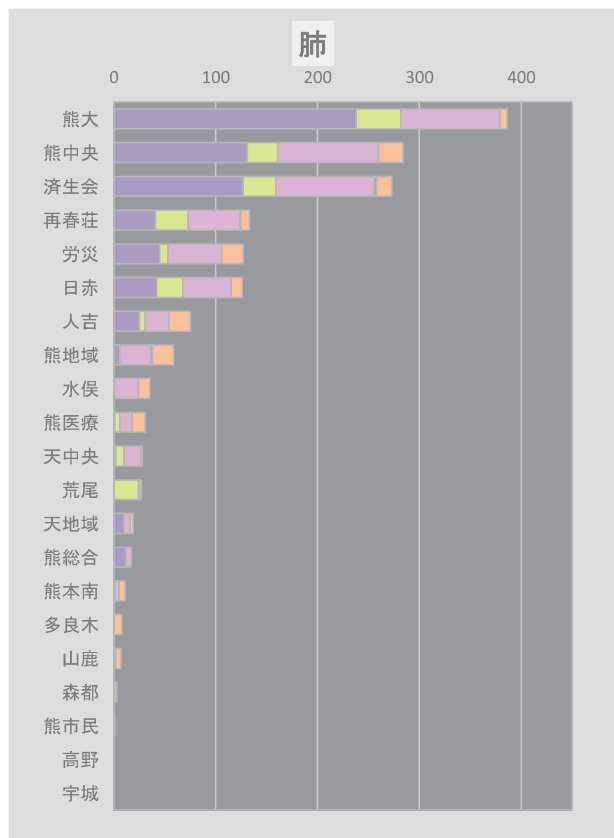
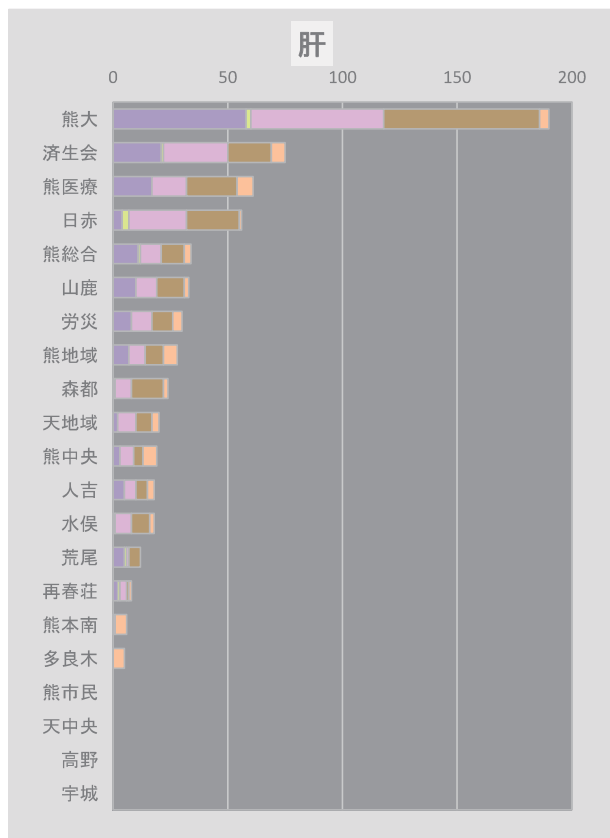
I 施設全体統計

15. 施設別 治療(初回治療+初回治療継続)件数



16. 5大部位別 施設別治療の内訳





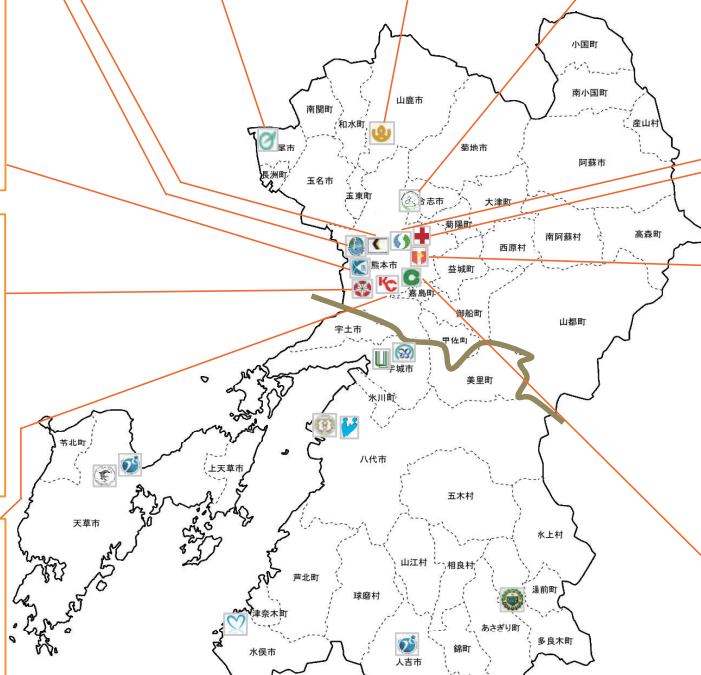
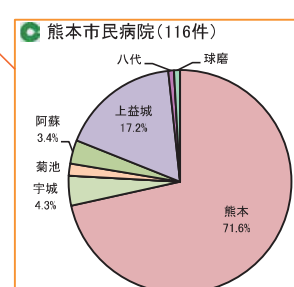
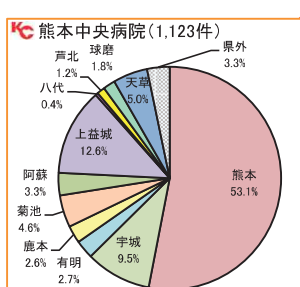
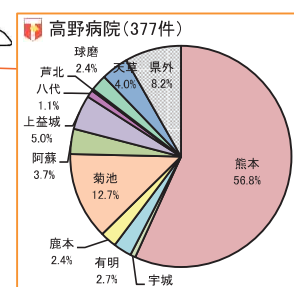
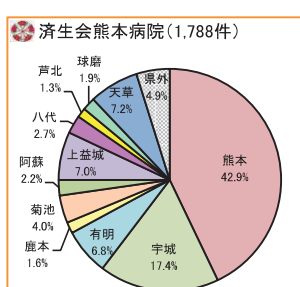
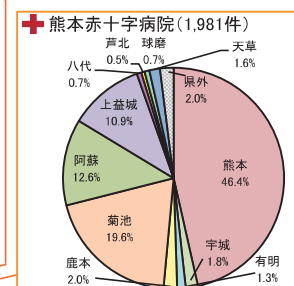
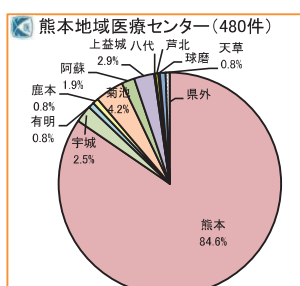
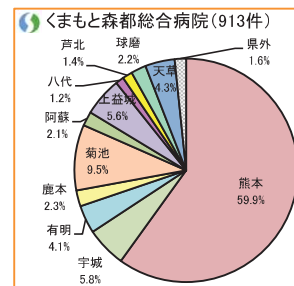
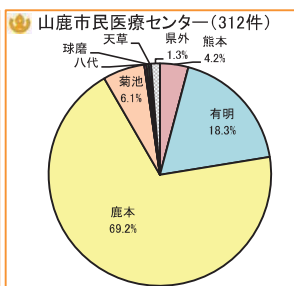
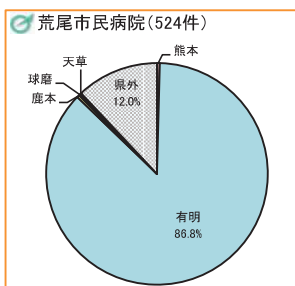
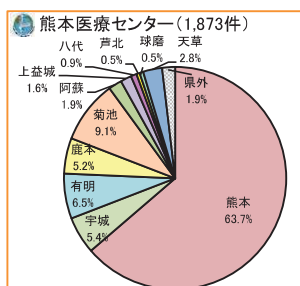
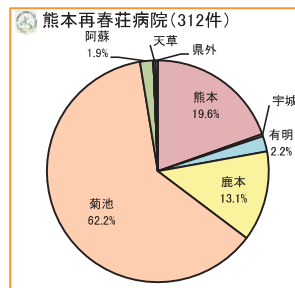
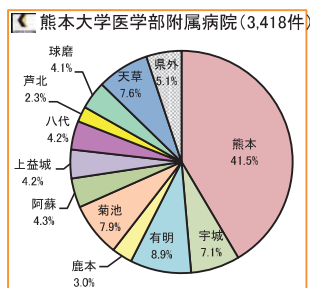
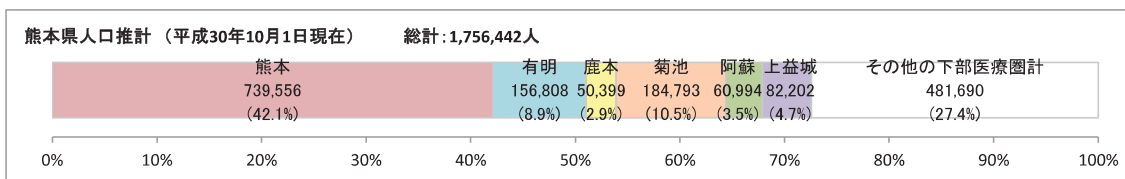
◇ 15. 16. 共通

- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で治療されたものを集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

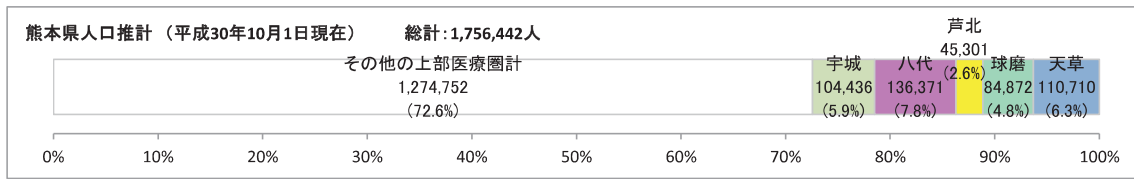


I 施設全体統計

17. 施設別 患者住所構成割合[熊本／有明／鹿本／菊池／阿蘇／上益城 医療圏]

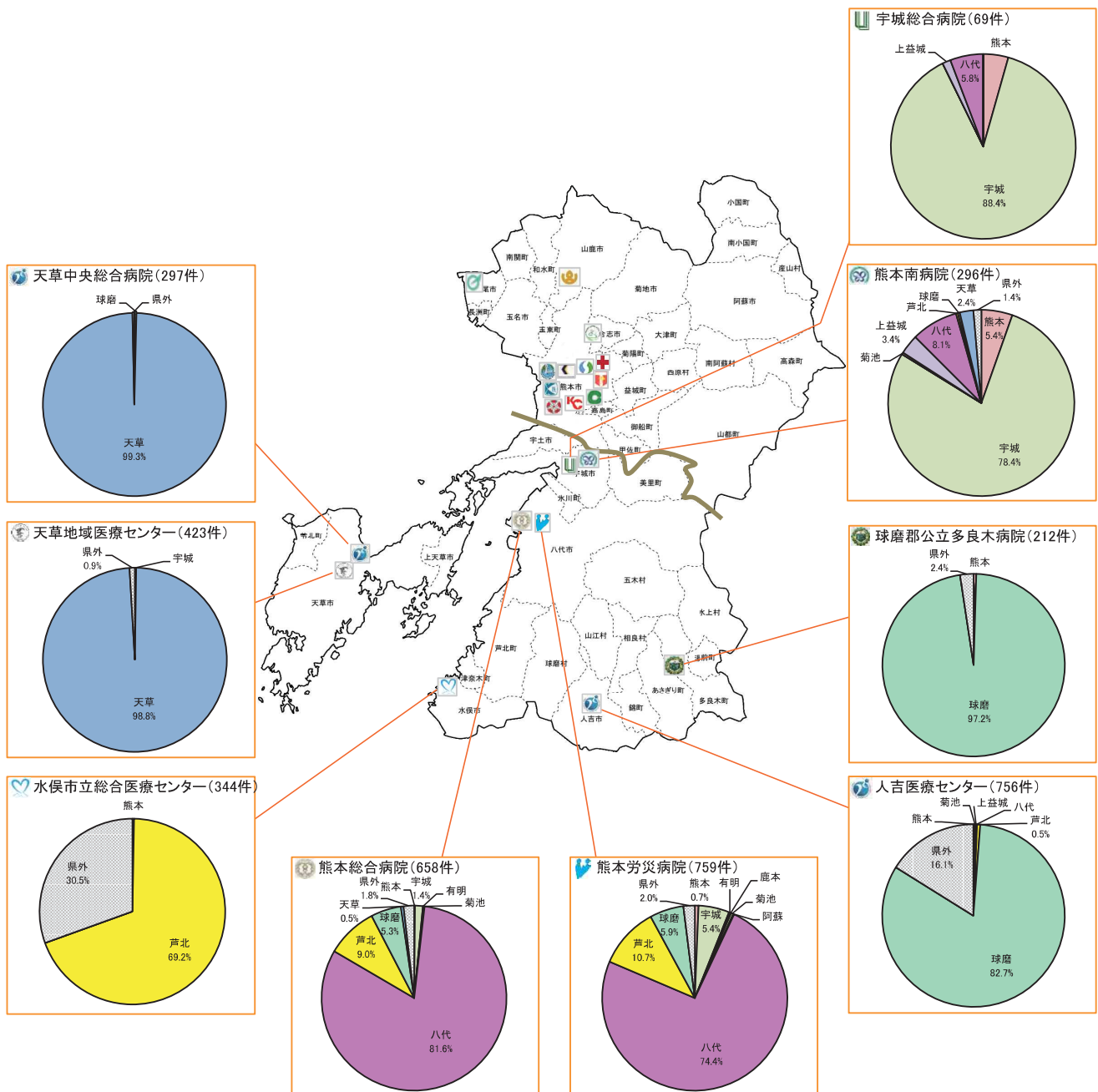


17. 施設別 患者住所構成割合[宇城／八代／芦北／球磨／天草 医療圏]

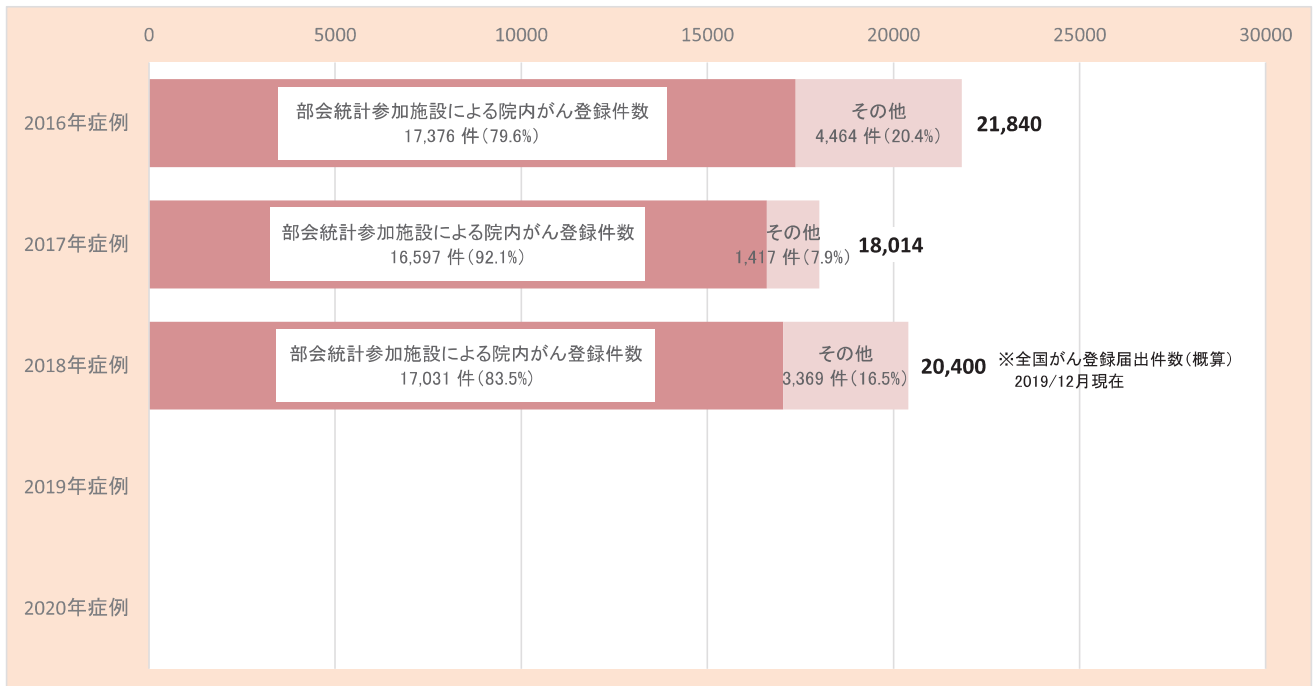


■熊本 ■宇城 ■有明 ■鹿本 ■菊池 ■阿蘇 ■上益城 ■八代 ■芦北 ■球磨 ■天草

※ %が非表示の地域は3件以下。



18. 診断年別 部会統計参加施設による全国がん登録届出状況



- * 部会統計参加施設による院内がん登録件数は、2019年11～12月に当部会へ提出された各施設の院内がん登録件数の集計数。(部会統計については、収集年によって参加施設数、件数ともに変化している。)
- * その他は、部会統計参加施設以外の施設と参加施設の追加提出分などの件数。
- * この図は、院内がん登録でどの程度全国がん登録をカバーしているかを見るためのものである。(院内がん登録では同一患者同一がんを1件に集約する作業はしないため重複がある。また全国がん登録届出件数は該当年以外の診断症例も含まれている点に留意。院内・全国がん登録は集約方法等が異なるため、あくまで参考値として捉えること。)
- * 全国がん登録届出件数(概算)は、公益財団法人熊本県総合保健センターによる。

(参考) 全国がん登録届出医療機関数と全国がん罹患数

診断年	病院数	診療所数	計	全国がん罹患数(速報)
2016年	214	59	273	14,907
2017年	214	59	273	2020/01月現在未公表
2018年	214	59	273	
2019年				
2020年				

- * 全国がん登録届出医療機関数は、公益財団法人熊本県総合保健センターによる。
- * 全国がん登録届出医療機関数は、該当年の12月現在の件数である。
- * 全国がん罹患数は、厚生労働省HP「全国がん罹患数 2016年速報」より引用した。
- * 全国がん罹患数は、上皮内がんを除いた件数である。

(参考) 熊本県の病院数と病床数(H30.4.1現在)

医療圏	病院数			病院病床数			診療所数			診療所病床数		
	2017年	2018年	前年差	総数(2017年)	総数(2018年)	前年差	2017年	2018年	前年差	総数(2017年)	総数(2018年)	前年差
熊本	94	95	1	15,510	15,481	-29		621			1,805	
宇城	12	12	0	1,864	1,852	-12		71			262	
有明	12	12	0	2,444	2,444	0		130			497	
鹿本	6	6	0	840	840	0		44			231	
菊池	16	16	0	3,399	3,391	-8		135			314	
阿蘇	6	6	0	971	971	0		44			112	
上益城	13	13	0	1,264	1,264	0		61			179	
八代	12	12	0	2,384	2,384	0		130			491	
芦北	11	11	0	1,493	1,493	0		47			229	
球磨	13	13	0	1,594	1,593	-1		81			264	
天草	18	18	0	2,878	2,878	0		106			507	
計	213	214	1	34,641	34,591	-50		1,470			4,891	

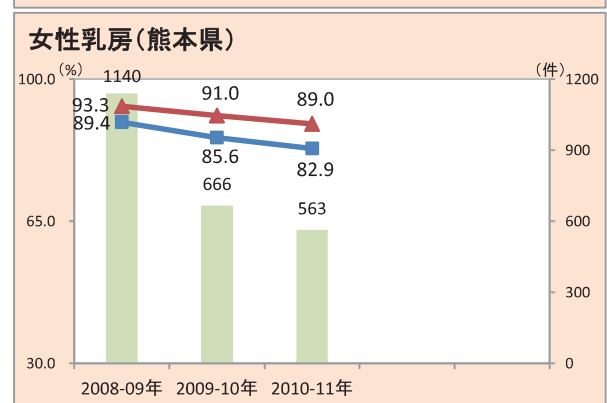
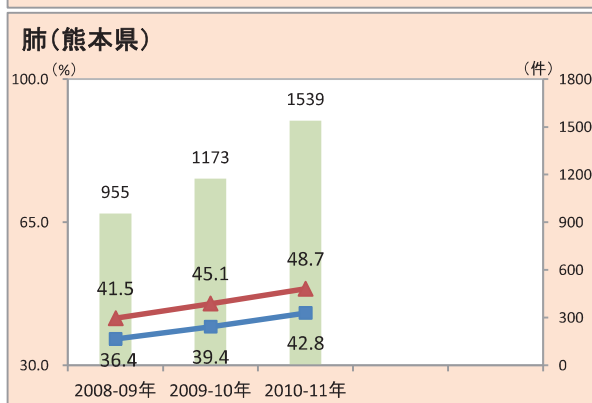
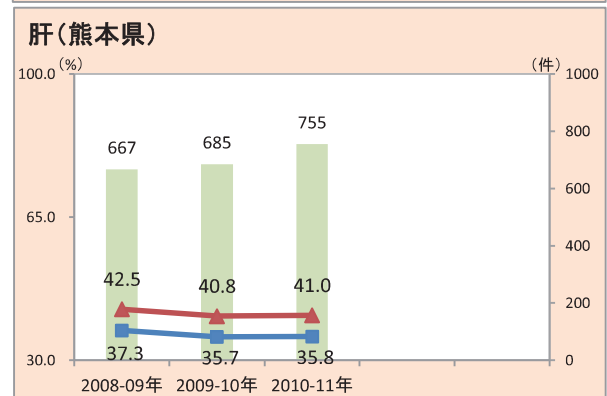
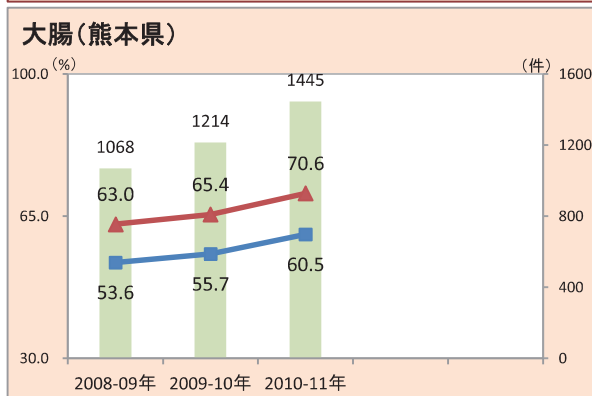
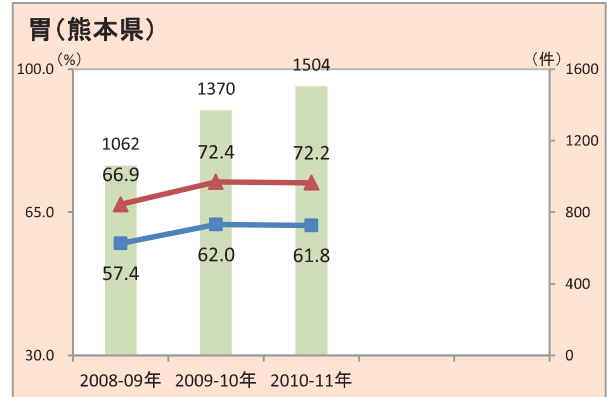
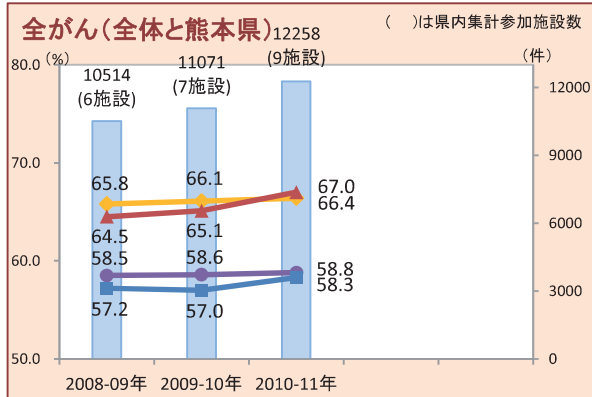
- * 該当年の件数は熊本県HP「医療施設一覧(平成30年4月1日現在)」より引用した。
- * 表の総数とは一般、療養、精神、結核、感染症病床の合計である。

19. 集計年別 5年生存率の推移 (がん診療連携拠点病院等院内がん登録5年生存率集計 報告書より)

条件

- ◆がん診療連携拠点病院/該当年の院内がん登録全国集計にデータ提供を行った都道府県推薦病院のうち以下の条件を満たした施設
 - ・ 該当年の通年データを持ち、予後情報付腫瘍データの提供ができる施設
 - ・ 生存状況把握割合が90%を超えた施設

熊本県集計件数 全体(実測) 全体(相対) 熊本県(実測) 熊本県(相対)



※ この頁は、国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター院内がん登録分析室による「がん診療連携拠点病院等院内がん登録 5年生存率集計 報告書 付表2. 都道府県別5年生存率集計」のうち、熊本県の部分を引用した。(URL https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_reg_surv.html)

※ この頁は、がん診療連携拠点病院等の一部施設のデータ集計値で5年生存率を算出したものである。ただしこれは県内のごく一部の医療機関の数値をまとめたものに過ぎず、部位・ステージ・合併症・年齢などの考慮は反映されていないため、必ずしも県全体の実態を表すものではないことに留意すること。

尚、同報告書の【データ精度は都道府県によっても異なる可能性があり、施設数が少ない都道府県のデータは、かなり偏りあるいは不正確が存在している可能性があり推定された生存率の解釈には注意を要する。単純に本集計結果をもって当該都道府県のがん医療の優劣の評価にはつながらないことに留意されたい。各がん診療連携拠点病院等におけるがん診療体制の違いによる対象者の違いや併存症、重症度等も生存率には影響を与えることに留意する必要がある。】との但し書きにある通り、数値については十分ご留意の上、参照していただきたい。

※ 実測(生存率)とは、死因に関係なく全ての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因による死亡も含まれる。

※ 相対(生存率)とは、生存率を計算する対象者と同じ特性(性、年齢、暦年など)を持つ一般集団の期待生存率より算出した期待生存率で実測生存率を割ることによって、他死因を補正する方法。期待生存率は国立がん研究センターが公表しているコホート生存率表を利用して求めている。